



佐賀県立九州陶磁文化館  
平成26年度年報・資料目録 No.34

Annual Report &  
Catalogue of Collections No.34  
The Kyushu Ceramic Museum  
2014.4 ~ 2015.3

## は じ め に

このたび、平成 26 年度の事業概要をまとめました。

平成 26 年度は、有田焼創業 400 年特別企画展として「白き黄金－有田・伊万里・武雄・嬉野の磁器の美と技－」展を開催しました。

その他九州山口陶磁展をはじめ、全部で 16 の展覧会が開かれ、陶芸文化の向上に貢献しました。

教育普及活動では、生涯学習の一環として、一般の方を対象にした館蔵の名品に触れて鑑賞する陶芸文化講座を開催しました。

この他、全国各地の機関から依頼された調査研究活動などへの協力も行いました。

当館の各種事業についても、今後、一層の充実に努めてまいりますので、引き続き関係各位の御指導と御協力をお願い申し上げます。

佐賀県立九州陶磁文化館  
館 長 鈴 田 由 紀 夫

## 目 次

はじめに	1
目 次	2
館の概要	
設立の目的 活動の目的	3
沿革 施設・設備の概要	4
組織・職員等	7
佐賀県立博物館施設資料購入指針	9
佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程	10
佐賀県立九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領	13
事業日誌	14
展示活動	
1. 常設展	15
2. 企画展・テーマ展など	25
3. 利用状況	38
4. 館蔵資料の貸出	39
5. 資料閲覧・写真撮影・フィルム借用・印刷物等掲載・複製申請処理	39
教育普及活動	
1. 展示案内	40
2. 地域主催イベントとの関連行事	41
3. 陶芸文化講座	43
4. 印刷物等の刊行	43
5. 資料鑑識	43
6. 講演など	44
調査研究活動	
1. 調査・研修	45
2. 調査協力・出張など	45
資料収集活動	
1. 陶磁資料の収集	47
2. 図書資料の収集	47
館蔵資料目録	48

## 館の概要

### 設立の目的

佐賀県立九州陶磁文化館は、肥前陶磁器をはじめ、各地域において、独自の伝統を継承発展させてきた九州の陶磁器に関し、その文化遺産の保存と陶芸文化の発展に寄与する目的で設立されました。

そのため、歴史的、美術的、産業的にみて重要な資料をあまねく収集・保存・展示し、あわせて調査研究や教育普及活動を行います。

したがって当館は、九州の陶芸文化に関する総合的施設の位置にあるばかりでなく、国際的にも注目される存在となることをめざしています。

### 活動の目的

#### ・展示活動

展示室は、5室に分かれ、そのうち固定展示室（第4展示室）においては、九州の陶磁の歴史を、実物あるいは図表・年表・写真などによって学ぶことができる仕組みになっています。柴田夫妻コレクション展示室（第5展示室）は江戸時代の有田焼を多数展示しています。他の3室では、企画展、その期間外は九州の古陶磁や現代陶芸の常設展示、あるいは随時個人もしくは団体の陶芸展を開催しています。

#### ・収集活動

国の内外を問わず、九州の陶磁に関して、歴史的、系譜的に資料（陶磁器・出土資料・古文書・古記録等）の調査収集を行っています。また資料の充実を図るため、資料の購入をはじめ寄贈・寄託資料の受入れにも努力しています。

#### ・調査研究活動

九州の陶芸あるいは陶磁産業を歴史的・総合的に明らかにするために、考古学・美術工芸史など色々な分野にわたる資料・文献の調査収集に努めています。また、学術講演会や研究の交流を通じて研究の進展を図っています。

#### ・教育普及活動

陶芸文化講座等を行って陶芸文化に対する理解を深め、さらに陶芸実習室を創作活動の場として提供するなど、広く陶芸文化に関する普及活動を行っています。



## 沿革

- 昭和 48. 1. 8 有田町長外、国際陶芸美術館建設について陳情  
昭和 51. 4 陶芸文化施設調査費を計上  
52. 4 陶芸文化施設調査費を計上  
52. 6 佐賀陶芸文化センター（仮称）建設計画案を作成  
52. 11 基本設計委託をアルセッド建築研究所と契約  
52. 11. 24 第1回佐賀県陶芸文化センター建設委員会開催  
52. 12. 8 佐賀県陶芸文化センター建設促進協力会設立（会長 鍋島直紹）  
53. 2. 28 基本設計完了  
53. 3. 29 建設費関係予算決定（約19億円）  
53. 4. 1 専任職員3名を配置  
53. 11. 15 建設工事入札  
53. 12. 20 設備工事入札  
53. 12. 27 用地譲渡契約締結（有田町より無償譲渡）  
54. 1. 16 起工式  
54. 5. 11 正式名称打合会（「西日本陶磁文化館」の案）  
54. 7. 6 正式名称「佐賀県立九州陶磁文化館」  
（英文名称 THE KYUSHU CERAMIC MUSEUM）と決定  
54. 10. 3 外構・植栽工事入札  
55. 3. 25 佐賀県立九州陶磁文化館竣工（建設工事費：1,745,100千円）  
55. 3. 27 佐賀県立九州陶磁文化館条例・同管理規則等を公布  
55. 11. 1 開館  
平成 元. 6. 12 染付鷲文三足大皿が重要文化財に指定  
5. 3. 25 柴田夫妻コレクション展示室完成  
5. 4. 29 柴田夫妻コレクション展示室が常設展の一室として開室  
6. 4. 1 旧窯業技術センター跡地(12,011.00㎡)を当館敷地として所管換  
12. 2. 22 玄関自動ドア設置  
12. 12. 4 染付山水文輪花大皿が重要文化財に指定  
12. 12. 28 からくり時計設置  
14. 3. 20 来館者用トイレ改修・増設  
18. 3. 31 有田磁器（柴田夫妻コレクション）10,311点が国登録有形文化財（美術工芸品）に登録  
26. 3. 31 防犯カメラ改修・新設  
26. 8. 31 エントランス照明設置  
27. 3. 16 身障者駐車場屋根設置  
27. 3. 16 収蔵庫棚新設  
27. 3. 20 館内 Wi-Fi 環境整備

## 施設・設備の概要

- 所在地** 佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1  
**設計管理** 内田祥哉+アルセッド建築事務所  
**施工業者** (1) 建築・外構…住友建設・松尾建設共同企業体  
(2) 設備工事・電気設備…新生電気・宮園電気共同企業体

(3) 空調設備…丸紅設備・昭栄設備工業共同企業体

(4) 給排水設備…葉隠設備工業（株）

(5) 植栽…中村永楽造園土木（株）

工 期 昭和 54 年 1 月 16 日～昭和 55 年 3 月 25 日

規 模 (1) 敷地面積：43,619.59 m<sup>2</sup>

(2) 建築面積：3,831.93 m<sup>2</sup>

(3) 延床面積：6,526.54 m<sup>2</sup>

(4) 構 造：鉄筋コンクリート造地上 2 階、一部 3 階建

主要設備 (1) 電気設備

契約電力：320kw（6,000V 受電） 発電機：80kw（220V）

(2) 空調設備

冷 暖 房：吸収冷温水機（能力 544,320.0 kcal/h）平成 6 年施工

そ の 他：防排煙連動操作設備（防火シャッター、排煙ファン）等

(3) 給排水設備

給水設備：町水道使用、受入槽 30t（15t 2 基）

排水設備：町公共下水道

消火設備：屋内消火槽、ハロンガス消火設備等

そ の 他：給湯設備、身障者便所等

[単位：m<sup>2</sup>]

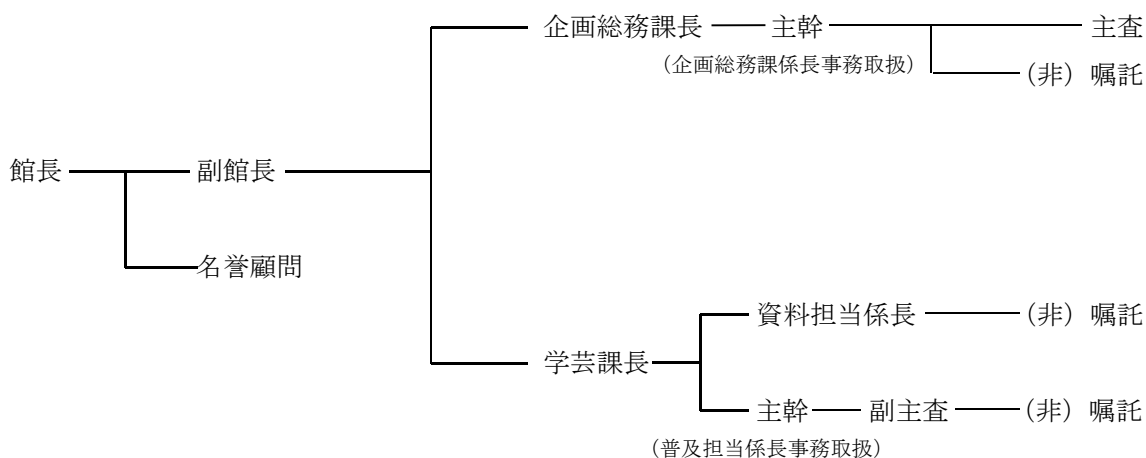
部 門	室 名	室数	面 積
展示施設	一 般 展 示 室	1	279.56
	企 画 展 示 室	1	236.95
	常 設 展 示 室	1	239.54
	固 定 展 示 室	1	396.26
	柴 コ レ 展 示 室	1	392.13
	展示準備室・倉庫	1	169.70
	小 計		1714.14
収蔵施設	第 1 収 蔵 庫	1	532.68
	第 2 収 蔵 庫	1	105.50
	第 3 収 蔵 庫	1	52.44
	そ の 他	1	553.80
	小 計		1244.42
研修施設	講 堂	1	385.49
	陶 芸 実 習 室	4	122.38
	一 般 研 修 室	2	203.76
	図 書 コ ー ナ ー	1	102.49
	そ の 他		154.85
	小 計		968.97

部 門	室 名	室数	面 積
研究施設	研 究 室	1	54.58
	実 験 室	1	19.21
	そ の 他	1	56.05
	小 計		129.84
管理施設	機 械 室		355.69
	事 務 室 等		553.99
	小 計		909.68
共通施設	展 示 ホ ー ル		406.73
	エントランスホール		284.15
	そ の 他		868.61
	小 計		1559.49
	合 計		6526.54



## 組織・職員等

### 1. 組織



### 2. 職員

職名	氏名	分掌事務
館長	鈴田 由紀夫	館の総括
名誉顧問	大橋 康二	名誉顧問
副館長	杉谷 直幹	館の総括補佐
企画総務課長	川崎 和博	課の総括
主幹 (企画総務課係長事務取扱)	大坪 千津美	予算執行、決算、給与(等)、旅費、福利厚生
主査	畑瀬 和人	広報、庁舎・財産管理、文書、収入(図録等以外)
嘱託	高塚 亜弥	収入(図録等)、物品管理
学芸課長	家田 淳一	課の総括
資料担当係長	藤原 友子	資料調査収集、展示
嘱託	増田 圭	観覧者への説明案内、予約管理、資料管理
主幹 (普及担当係長事務取扱)	徳永 貞紹	教育普及・展示
副主査	山本文子	教育普及・展示
嘱託	井嶋 玲和	有田焼創業 400 年事業特別企画展準備

平成 27 年 3 月 31 日現在



3. 協議会委員（任期：平成 25 年 6 月 23 日～平成 27 年 6 月 22 日）

氏 名	役 職 名
飯 笹 貞 子	宗徧流佐賀支部 副支部長
今 泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会 会長
岩 崎 裕 里	筑紫女学園大学 非常勤講師
宇都宮 忠	佐賀新聞社 論説委員
小 林 知 美	筑紫女学院大学 講師
尾 崎 葉 子	有田町歴史民俗資料館 館長
石 井 秀 夫	佐賀県議会議員 (H.26.6.13～)
酒井田 柿右衛門	柿右衛門製陶技術保存会 会長 (H.26.3.19～)
山 口 隆 敏	有田町 町長 (H.26.6.13～)
中里 太郎右衛門	佐賀県陶芸協会 副会長
深 川 祐 次	有田商工会議所 会頭 (H.26.3.19～)
前 田 なつき	西有田中学校 教諭
今 泉 洋 子	有田町地域婦人会 副会長
岸 ゆかり	有田町 教育委員

平成 27 年 3 月 31 日現在

4. 資料専門委員会（任期：平成 25 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日）

氏 名	役 職 名
今泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会 会長
尾 崎 直 人	元福岡市美術館 学芸員
酒井田柿右衛門	柿右衛門製陶技術保存会 会長 (H.26.3.3～)
中里太郎右衛門	佐賀県陶芸協会 副会長

平成 27 年 3 月 31 日現在

## 佐賀県立博物館施設資料購入指針

(趣旨)

第1条 この指針は、規則その他規程に定めがあるものを除き、佐賀県立博物館・美術館、佐賀県立九州陶磁文化館、佐賀県立名護屋城博物館、佐賀県立佐賀城本丸歴史館（以下「各館」という。）の資料購入を行うための、必要な事項を定めるものとする。

(資料収集調整委員会)

第2条 各館の購入資料は、すべて別途定める「佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会（以下「委員会」という。）」において、選定するものとする。

(資料購入費の配分)

第3条 委員会事務局は、各館の購入実績等を踏まえ、事前に資料購入費の一応の目安額となる配分額を示すものとし、その調整は委員会において行うこととする。

2 購入資料の選定後、文化課は各館からの申請により資料購入費を再配当する。

(購入予定資料の評価)

第4条 委員会で選定した購入資料のうち、一件の購入予定価格が400万円以上のものについては、当該資料と直接利害関係を有しない複数の学識経験者等に意見を求めるものとする。また、購入予定価格の如何を問わず、評価が困難なものについても同様の取扱とし、適正な評価に努めなければならない。

(購入の取りやめ)

第5条 前条の評価の結果、購入が適当でない場合や市場の変化等により購入が不可能となった場合の購入取りやめの判断は各館の館長が行うものとする。なお、その際は委員会事務局へ速やかに報告することとする。

(資料の購入先)

第6条 資料購入先は、同一業者に偏向しないように配慮する。なお、原則として、年に1,000万円以上の取引が過去3ヶ年以上継続した業者からの購入は1年間見合わせる。

附則

(適用期日)

1 この指針は、平成24年5月9日から適用する。

## 佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、佐賀県立九州陶磁文化館（以下「陶磁文化館」という。）が陶磁文化館資料（佐賀県財務規則（平成4年佐賀県規則第35号。以下「財務規則」という。）第143条第2項の規定による物品分類表中博物館資料に分類される物品をいい、以下「資料」という。）の購入、寄贈、寄託、一時預り、貸出し、公開等を行う場合における資料の管理・保管の方法について、財務規則に定めるもののほか必要な事項を定めるものとする。

### (資料の分類)

第2条 資料の分類は、別表1の分類により整理するものとする。

### (資料の購入)

第3条 陶磁文化館で購入する資料は、すべて佐賀県立九州陶磁文化館資料専門委員会（以下「資料専門委員会」という。）で選考し、佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会（以下「調整委員会」という。）において選定するものとする。

- 2 陶磁文化館長（以下「館長」という。）は、調整委員会で購入を選定した資料のうち1件あたりの購入予定価格が400万円以上のものについては、専門委員会の委員から評価調書（別記様式第1号）により意見を求めるものとする。また、資料価値の算定が困難な資料については、購入予定価格の如何にかかわらず、必要に応じて学識経験者等から意見を求め、適正な評価に努めなければならない。
- 3 館長は、前項の規定による評価の結果により購入を取り止めようとする場合又は購入が不可能と判断した場合は、不購入の決定を行うものとする。この場合は、調整委員会へ速やかにその旨を報告するものとする。

### (資料の寄贈)

第4条 陶磁文化館に資料を寄贈しようとする者は、資料寄贈申込書（別記様式第2号）により館長に申し込まなければならない。

- 2 館長は、前項の規定により申込みのあった資料について必要に応じて資料専門委員会に諮るなどの措置を講じ、陶磁文化館で所蔵することが適当と認めるものについては、寄贈資料受納調書（別記様式第3号）を作成し、受納を決定するものとする。この場合において、1件あたりの時価見積額が400万円以上の資料については、資料専門委員会の委員等による選定・評価を受けなければならない。
- 3 前項の規定により受納を決定した場合は、寄贈者に対し寄贈資料受納書（別記様式第4号）を送付するものとする。

### (資料の寄託及び一時預り等)

第5条 陶磁文化館に資料を寄託（1年以上の期限を定めた寄託に限る。）しようとする者は、資料寄託申込書（別記様式第5号）により館長に申し込まなければならない。

- 2 陶磁文化館が資料の寄託又は出品を所有者に依頼するときは、資料寄託・出品承諾書（別記様式第6号）により所有者の承諾を得なければならない。
- 3 寄託の申し込みのあった資料で館長が認めたもの又は寄託の承諾を得た資料については、寄託資料受入

調書（別記様式第7号）を作成し、受入れを決定するものとする。

- 4 前項の規定により寄託の受入れを決定したときは、資料寄託契約書（別記様式第8号）により契約を締結した後、寄託資料台帳（別記様式第9号）にその旨を登載するものとする。
- 5 展覧会への出品及び研究等のため短期間資料を預かるときは、出品者又は所有者に対し、資料一時預り証（別記様式第10号）を発行するとともに、一時預り資料台帳（別記様式第11号）にその旨を登載するものとする。ただし、企画展のための一時預りについてはこの限りではない。
- 6 埋蔵文化財（出土品）等所有権が確認できない資料について、現にその資料を管理している者から寄託及び出品の申し込みがあった場合又は同人に依頼する場合の手続については、当該管理している者を所有者とみなして前各項の規定を適用する。
- 7 佐賀県出土の埋蔵文化財のうち、国の保有する重要文化財等を1年以上継続して借用する場合は、第4項及び第5項の規定にかかわらず、国保有重要文化財等借用台帳（別記様式第12号）にその旨を登載する。

#### （資料の整理）

- 第6条 第3条及び第4条の規定により受け入れた資料は、当該資料一件ごとに資料カード（別記様式第13号）を作成し、整理しなければならない。
- 2 前項の資料には、資料ラベル（別記様式第14号）を貼付し、又は紐付けをして整理しなければならない。ただし、貼付し、又は紐付けすることが困難なときは、マーキングを施す等の適当な方法により整理するものとする。
  - 3 前条第4項に規定する寄託資料及び前条第7項の国保有重要文化財等については、前2項の規定を適用する。この場合において、前2項に規定する様式については、すべて赤枠で表示し区別するものとする。

#### （資料の貸出し）

- 第7条 資料の貸出しは、原則として行わないものとする。ただし、教育、学術及び文化に関する機関、団体等が行う展示会に貸し出す場合で、資料の保管について十分な管理体制がとられると認められるときは、業務に支障がない場合に限り、館長が貸出しを許可することができる。
- 2 前項ただし書きの規定により貸出しを受けようとする者は、資料借用申請書（別記様式第15号）又はこれに準ずる申請書を館長に提出しなければならない。この場合において、貸出しを受けようとする資料が寄託品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者（第5条第6項に規定する場合は、当該資料を管理している者。第8条第2項において同じ。）の承諾書又はその写しを添付しなければならない。
  - 3 館長は、前項の申請により貸出しを許可したときは、資料貸出台帳（別記様式第16号）にその旨を登載し、申請者に対し資料貸出許可書（別記様式第17号）を交付するものとする。また、貸出しに際しては、借受人から借用書を提出させるものとする。
  - 4 資料の貸出しを行なう場合又は返納を受ける場合は、委任出納員並びに担当学芸員が立会し、受渡し又は受取りを行うものとする。この場合において、資料に破損、汚損又は亡失があったときは、館長は借受人に対し必要な指示をするとともに損害の賠償を請求するものとする。

#### （資料の公開・特別利用）

- 第8条 資料の公開は、博物館及び美術館が主催して展示を行うとき又は前条の規定により貸出すとき以外

には行わない。ただし、学術上の調査研究、文化振興等の目的で資料の閲覧、撮影、フィルム等画像原稿借用、印刷物・電子媒体等での画像使用、複製等（以下「特別利用」という。）を求められたときは、資料の保存及び業務に支障がない場合に限り、館長は条件を付してその利用を許可することができる。

- 2 前項ただし書きの規定により許可を得ようとする者は、資料特別利用許可申請書（別記様式第18号）又はこれに準ずる申請書を館長に提出しなければならない。この場合において、許可を得ようとする資料が寄託品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者の承諾書又はその写しを添付しなければならない。
- 3 館長は、前項の申請により特別利用を許可したときは、資料特別利用許可簿（別記様式第19号）にその旨を登載し、当該申請者に資料特別利用許可書（別記様式第20号）を交付するものとする。
- 4 資料の閲覧、撮影等実物の取扱を伴う特別利用は、担当学芸員の立会いのもとで行い、その指示に従わなければならない。
- 5 印刷物掲載等の画像使用を行った場合は、利用後速やかに成果品を館長に提出しなければならない。電子媒体による出版又は放送等で映像を使用した場合もこれに準ずる。

（補足）

第9条 この規定に定めるもののほか、資料の取扱いについて必要な事項は、別に館長が定める。

附 則

この規程は、昭和61年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年1月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

## 佐賀県立九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領

### (趣 旨)

**第1条** この要領は、佐賀県立九州陶磁文化館の管理に関する規則（昭和55年佐賀県教育委員会規則第5号）第14条の規定に基づき、佐賀県立九州陶磁文化館の施設及び附属設備（以下「施設等」という。）の使用に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (使用の申込み)

**第2条** 九州陶磁文化館の施設等の使用をしようとする者は、使用日の1月前までに、九州陶磁文化館施設等使用申込書（以下「申込書」という。）（様式第1号）を館長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、館長が特に認めた場合は、申込期限を経過しても申込書を提出することができる。

### (使用の承認等)

**第3条** 館長は、申込書を提出した者に対し、施設等の使用を認める場合は、九州陶磁文化館使用承認書（様式第2号）を交付するものとする。

2 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を承認しないものとする。

- 一 営利を主たる目的とするとき。
- 二 館内の秩序を乱すおそれがあるとき。
- 三 館の資料及び施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- 四 集団的又は常習的に暴力的行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- 五 その他管理上支障があると認められるとき。

### (使用目的の変更等の禁止)

**第4条** 前条第1項の規定により使用の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用目的を変更し、又は使用の権利を譲渡し、若しくは他に転貸することができない。

### (使用者の義務)

**第5条** 使用者は、使用に当たり次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- 一 定員を超えて入場させないこと。
- 二 使用目的以外の物品の販売若しくは陳列又は公告物の掲示若しくは配布をしないこと。
- 三 館の資料及び施設等を毀損しないこと。
- 四 その他館長の指示に従うこと。

### (使用承認の取消し等)

**第6条** 館長は、使用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、使用の承認を取り消し、又は使用の中止を命ずることができる。

- 一 申込書の内容に偽りがあった場合
- 二 その使用が第3条第2項各号のいずれかに該当することが明らかとなった場合
- 三 前二条の規定に違反した場合

2 前項の規定により使用の承認を取り消され、又は使用の中止を命ぜられたことにより使用者に損害を生ずることがあっても、これに対する補償は行わないものとする。

### (弁償)

**第7条** 使用者は、施設等の使用において資料又は施設等を亡失し、破損し、又は汚損したときは、館長の指示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

2 使用者は、使用目的である講演、会議、交流会その他の会合に参加している者が前項に掲げる行為を行った場合についても、館長の指示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

### (光熱水費の負担)

**第8条** 館長は、使用者が使用に際して相当の電気又は水道等の使用を伴う場合は、当該使用の目的及び使用実態等を勘案して、当該使用者に対して相当の光熱水費の負担を求めるものとする。

2 使用者は、前項の規定により、館長から光熱水費の負担を求められた場合は、指示された期限までに納入しなければならない。

### (収益等を伴う場合の取扱い)

**第9条** 施設等を使用する際に、収益を伴う使用及び観覧料等を徴する使用の場合については、この要領にかかわらず佐賀県公有財産規則（昭和40年佐賀県規則第6号）第19条及び第20条の規定に基づき処理するものとする。

### 附 則

この要領は、平成20年11月1日から施行する。  
この要領は、平成22年1月1日から施行する。

様式第1号 九州陶磁文化館施設等使用申込書（略）

様式第2号 九州陶磁文化館使用承認書（略）

## 事業日誌

- 平成 26. 4. 29 「第 111 回 九州山口陶磁展」(～5.9) (第 1 部美術工芸品・オブジェの部)
5. 16 「新収蔵品展」(～6.22)
7. 1 「第 23 回 陶千坊展」(～7.6)
7. 20 「第 28 回 現代工芸美術九州会展」(～7.27)
7. 28 年報・資料目録(平成 25 年度 No.33) 刊行
7. 30 「有田窯業大学校 30 周年記念 OB 展」(～8.10)
7. 31 平成 26 年度佐賀県立九州陶磁文化館協議会
8. 19 「ちいさなちいさな小皿 おてしよ皿展」(～8.31)
9. 6 「第 13 回 伊万里・有田焼伝統工芸士展」(～9.21)
10. 4 「有田焼創業 400 年事業特別企画展 白き黄金  
—有田・伊万里・武雄・嬉野の磁器の美と技—」(～11.24)
12. 2 「第 38 回 九州籃筍会」(～12.7)
12. 20 「新春展 吉祥の器」(～1.12)
1. 20 「第 46 回 有田工業高等学校卒業制作展」(～1.25)
1. 27 「第 33 回 西松浦郡小・中学校学童美術展」(～2.1)
2. 10 「九陶陶芸教室 OB 有志展」(～2.15)
2. 24 「第 26 回 九州陶磁器デザイナー協会展」(～3.1)
2. 28 平成 26 年度 第 1 回・第 2 回 陶芸文化講座(午前・午後)
3. 3 「第 29 回 有田窯業大学校卒業制作展」(～3.8)
3. 17 「第 30 回 有田陶交会展」(～3.22)
3. 31 セラミック九州 No.51 刊行

## 展 示 活 動

### 1. 常設展

当館の常設展は4つの展示室からなり、九州陶磁の歴史と特色が、順を追って把握できるように構成されています。

順路は第4展示室（固定展示室）から始まり、第5展示室（柴田夫妻コレクション）、第3展示室（九州の古陶磁）を經由して第2展示室（現代の九州陶芸）で終わります。

内容的には九州の陶磁の基礎的学習ができる第4展示室、江戸時代の有田磁器を展示した柴田夫妻コレクションの第5展示室、九州の古陶芸を鑑賞する第3展示室、九州の現代陶芸を鑑賞する第2展示室というそれぞれの特色があります。

これらの展示は、第2・3展示室は平成26年11月29日に展示内容を一新しました。

大規模な企画展が開かれる場合は、固定展示室、柴田夫妻コレクション展示室を除いて他の2室は一時的に撤収し、対応しています。

会 期 平成26年4月1日～平成27年3月31日  
休館日の月曜日と年末の休館日  
(12/29～12/31)を除く

展 示 室 第2展示室、第3展示室及び展示ホール  
第4展示室（固定展示室）  
第5展示室（柴田夫妻コレクション展示室）

入 館 者 57,153人 1日平均180人（318日）



展示ホール

#### (1) 固定展示室（第4展示室）

この展示室では、やきものについての基礎的な知識をはじめ、中国・朝鮮国の強い影響のもと、日本の、とりわけ九州の陶磁器がどのように発展してきたか、古代・中世から近世・近代までの流れを紹介しています。特に、肥前で生産された磁器については、その生産の技術や国内での流通及び海外との貿易についても説明しています。また、陶器や磁器の具体的な製作工程や装飾技法についても学ぶことができます。

展示内容を詳しく解説した冊子「土と炎」を刊行しています。

なお、蒲原コレクションの輸出伊万里101点は、この展示室で御覧になれます。

#### 【展示内容】

1. やきもの基礎知識
2. 中国・朝鮮の陶磁の流れ
3. 日本の陶磁の流れ
4. 九州陶磁の展開（タッチパネル）
5. 九州の陶器
6. 磁器の始まり
7. 有田・大川内山の登窯
8. 窯跡復元模型
9. 九州の磁器
10. 古伊万里とオランダ貿易
11. ヨーロッパの古伊万里
12. 蒲原コレクション
13. 近代の九州陶磁
14. 装飾技法
15. 陶片にみる肥前のやきもの
16. 陶器と磁器の制作工程



第4展示室



**(2) 柴田夫妻コレクションの展示 (第5展示室)**

柴田明彦・祐子夫妻から、平成2年より15年にかけて寄贈していただいた江戸時代の有田磁器 10,311 点の中から 482 件 1,167 点を常設展示しています。

このコレクションの特徴は、有田磁器の歴史的変遷がわかるように各時代の様々な種類の作品が網羅されている点にあります。

この展示室では次のようなコーナーを設けて、有田磁器の様式の特徴、技術の変化、器種別の変遷などを紹介しています。



年代による変遷コーナー

**(3) 九州の古陶磁 (第3展示室)**

常設展「九州の古陶磁」は、佐賀・長崎・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の九州各県に分けて、江戸時代のやきものを紹介しています。

唐津焼の陶器に始まる肥前のやきものは、日本初の磁器を産み出した後、その発展にともない初期伊万里、柿右衛門様式、鍋島藩窯様式など様々な陶磁器を産み出してきました。

また、九州各県に点在する茶陶の名窯や日常生活の中で愛された民窯では、地域色豊かな陶器や磁器が焼かれています。

館蔵品を中心にした展示総数は 126 件 164 点で、寄託品 8 件 8 点を含んでいます。

**【展示内容】**

**佐賀**

1. 唐津系陶器
2. 古伊万里・初期伊万里様式
3. 古伊万里・正保様式
4. 古伊万里・寛文様式
5. 古伊万里・延宝・柿右衛門様式
6. 古伊万里・元禄様式
7. 古伊万里・宝暦・文政様式
8. 古伊万里・近代
9. 鍋島藩窯

**九州**

10. 長崎の陶磁器
11. 福岡の陶磁器
12. 熊本の陶磁器
13. 大分・宮崎の陶磁器
14. 鹿児島の陶磁器
15. 沖縄の陶磁器
16. 組皿の文様

会期 平成 25 年 12 月～平成 27 年 12 月

●コーナー

- 1 年代による変遷
- 2 名前のつけ方
- 3 磁器の種類
- 4 江戸時代の食膳
- 5 器を現代に生かす
- 6 植物の文様と形
- 7 動物の文様と形
- 8 器物の文様と形
- 9 出土陶片との比較



器を現代に生かすコーナー

会期 平成 26 年 11 月～平成 27 年 9 月

(会期中企画展等のため一時的に撤収される場合がある)

**(構成)**

**佐賀 【87 件 109 点】**

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1. 唐津系陶器          | 17 件 21 点 |
| 2. 古伊万里・初期伊万里様式   | 7 件 7 点   |
| 3. 古伊万里・正保様式      | 6 件 10 点  |
| 4. 古伊万里・寛文様式      | 6 件 6 点   |
| 5. 古伊万里・延宝・柿右衛門様式 | 8 件 8 点   |
| 6. 古伊万里・元禄様式      | 10 件 10 点 |
| 7. 古伊万里・宝暦・文政様式   | 14 件 14 点 |
| 8. 古伊万里・近代        | 3 件 13 点  |
| 9. 鍋島藩窯           | 16 件 20 点 |

**九州 【39 件 55 点】**

- |               |          |
|---------------|----------|
| 10. 長崎の陶磁器    | 7 件 11 点 |
| 11. 福岡の陶磁器    | 7 件 7 点  |
| 12. 熊本の陶磁器    | 5 件 5 点  |
| 13. 大分・宮崎の陶磁器 | 2 件 2 点  |
| 14. 鹿児島の陶磁器   | 8 件 8 点  |
| 15. 沖縄の陶磁器    | 7 件 7 点  |
| 16. 組皿の文様     | 3 件 15 点 |

【九州の古陶磁 展示目録】

展示総数 126 件 164 点  
年代

No.	資料名	点数	収蔵番号	生産地	年代
<b>1. 【唐津系陶器】</b>					
1	藁灰釉壺（斑唐津）	1	7396	肥前・岸岳系	1580～1590年代
2	褐釉叩き大壺	1	1978	肥前	1580～1600年代
3	藁灰釉鉄釉掛流叩き三耳壺（朝鮮唐津）	1	6788	肥前・藤川内茅ノ谷窯	1590～1610年代
4	鉄絵菉文壺（絵唐津）	1	29	肥前	1590～1610年代
5	鉄絵草文片口（絵唐津）	1	4848	肥前	1590～1610年代
6	鉄絵草文四方向付（絵唐津）	5	6773	肥前・多久高麗谷窯	1590～1610年代
7	灰釉茶碗（奥高麗） 銘「瑞雲」	1	6798	肥前	1590～1610年代
8	鉄絵沓茶碗（絵唐津）	1	4845	肥前	1590～1610年代
9	鉄釉白釉描線文茶碗（素麵手）	1	801	肥前・武雄・向家窯 <small>カ</small>	1600～1640年代
10	灰釉鉄釉振掛文茶碗	1	2681	肥前・塩田・本源寺窯 <small>カ</small>	1600～1630年代
11	象嵌双耳水指（三島手）	1	6025	肥前・塩田・大草野窯	1610～1630年代
12	鉄絵緑彩松文甕（二彩手）	1	3264	肥前・武雄	1630～1670年代
13	鉄絵緑彩型紙摺唐花唐草文大皿（二彩手）	1	3256	肥前・武雄	1610～1640年代
14	呉須絵山水文瓶（京焼風陶器）	1	2239	肥前	1660～1690年代
15	灰釉兎形手焙（献上唐津）	1	4852	肥前・唐津	18世紀後半～19世紀前半
16	呉須絵鶴鴿文菱形筆筒（献上唐津）	1	6843	肥前・唐津	18世紀末～19世紀中葉
17	象嵌透し雲鶴文大皿（献上唐津）	1	847	肥前・唐津	19世紀前半
<b>2. 【古伊万里・初期伊万里様式】</b>					
18	染付牛人物文水指	1	2672	肥前・有田窯	1610～1630年代
19	染付鉄釉秋草文茶碗	1	694	肥前・有田窯	1630～1640年代
20	白磁皿	1	626	肥前・有田窯	1630～1650年代
21	青磁獅子香炉	1	3416	肥前・有田窯	1630～1640年代
22	染付楼閣山水文皿	1	548	肥前・有田窯	1640～1650年代
23	染付銹釉飛匏文瓢形瓶	1	696	肥前・有田窯	1630～1650年代
24	染付楼閣山水文大皿	1	135	肥前・有田窯 山辺田窯	1630～1640年代
<b>3. 【古伊万里・正保様式】</b>					
25	色絵山水菊唐草文大皿	1	3262	肥前・有田窯	1650年代頃
26	色絵竹虎文大皿	1	4565	肥前・有田窯	1650～1660年代
27	瑠璃釉青磁鷺文変形皿	1	718	肥前・有田窯	1660～1670年代
28	染付鷺文変形皿	1	753	肥前・有田窯	1660～1670年代
29	色絵菊龍文鉢	1	53	肥前・有田窯	1655～1660年代
30	白磁桔梗形向付	5	372	肥前・有田窯	1650～1680年代



5 鉄絵草文片口（絵唐津） 肥前  
1590～1610年代



19 染付鉄釉秋草文茶碗 肥前・有田窯  
1630～1640年代

No.	資料名	点数	収蔵番号	生産地	年代
<b>4. 【古伊万里・寛文様式】</b>					
31	染付宝文水注	1	寄託	肥前・有田窯	16世紀末～17世紀前半
32	染付宝草花文水注	1	2677	肥前・有田窯	1660～1680年代
33	色絵印判手仙境図大皿	1	寄託	肥前・漳州窯	17世紀前半
34	色絵印判手仙境図大皿	1	12447	肥前・吉田窯	1650～1660年代
35	染付芙蓉手蓮池水禽文輪花大皿	1	449	中国・景德鎮窯	16世紀末～17世紀初頭
36	染付芙蓉手花鳥文皿	1	6357	肥前・有田窯	1655～1670年代
<b>5. 【古伊万里・延宝・柿右衛門様式】</b>					
37	染付花鳥文皿	1	160	肥前・有田窯	1670～1690年代
38	染付花鳥文皿	1	346	肥前・有田窯	1670～1690年代
39	色絵花鳥文碗	1	161	肥前・有田窯	1670～1690年代
40	色絵柴垣梅樹文鉢	1	5946	中国・景德鎮窯	18世紀
41	色絵花鳥文皿	1	366	肥前・有田窯	1670～1690年代
42	色絵梅花柴垣文皿	1	4933	ドイツ・マイセン窯	1720年頃
43	色絵婦人像	1	532	肥前・有田窯	1670～1690年代
44	色絵婦人像	1	12442	肥前・有田窯	1670～1690年代
<b>6. 【古伊万里・元禄様式】</b>					
45	色絵牡丹鳳凰花鳥文大皿	1	5232	肥前・有田窯	1700～1740年代
46	色絵牡丹鳳凰花鳥文大皿	1	5233	肥前・有田窯	1700～1740年代
47	染付芙蓉手鳳凰文大皿：VOC銘	1	887	肥前・有田窯	1690～1710年代
48	染付芙蓉手水鳥文皿	1	49	肥前・有田窯	1690～1750年代
49	染付芙蓉手水鳥文皿	1	寄託	中国・景德鎮窯	1590～1630年代
50	色絵草花文双耳水注	1	5265	肥前・有田窯	1700～1730年代
51	色絵菊牡丹文蓋付水注	1	5830	肥前・有田窯	1730～1770年代
52	色絵赤玉雲龍文鉢	1	606	肥前・有田窯	1700～1730年代
53	色絵蘭石文扇形皿	1	6084	肥前・有田窯	1730～1760年代
54	色絵牡丹透垣文扇形皿	1	8405	中国・景德鎮窯	18世紀前半
<b>7. 【古伊万里・宝暦・文政様式】</b>					
55	染付菊紋麻葉文碗	1	410	肥前・有田窯	1780～1820年代
56	染付菊紋帆掛船文碗	1	6775	肥前・有田窯 辻窯	18世紀末
57	染付菊紋麻葉文碗	1	410	肥前・有田窯 辻窯	1780～1820年代
58	染付菊紋撫子文小碗	1	4386	肥前・有田窯	1780～1840年代
59	染付菊紋竹文碗	1	6146	肥前・有田窯 辻窯か	1800～1860年代
60	染付菊紋松唐草文小碗	1	7385	肥前・有田窯	1820～1860年代
61	染付菊紋牡丹鶴文碗	1	6616	肥前・有田窯	19世紀後半



34 色絵印判手仙境図大皿 肥前・吉田窯  
1650～1660年代



50 色絵草花文双耳水注 肥前・有田窯  
1700～1730年代

No.	資料名	点数	収蔵番号	生産地	年代
62	染付菊紋唐草文小碗	1	6029	肥前・有田窯	19世紀
63	染付菊紋花鳥文碗	1	6658	肥前・有田窯	19世紀初～幕末
64	染付菊紋竹垣藤文小皿	1	6774	肥前・有田窯 辻窯	1750～1780年代
65	染付菊紋竹垣文小皿	1	6768	肥前・有田窯 辻窯	1740～1770年代
66	染付菊紋桜鶴文手塩皿	1	6147	肥前・有田窯 辻窯か	1800～1840年代
67	染付菊紋藤文皿	1	347	肥前・有田窯	1820～1860年代
68	染付網目文大皿	1	784	肥前・有田窯	1780～1820年代
<b>8. 【古伊万里・近代】</b>					
69	白磁六角碗	1	7705	肥前・有田窯	1840～1870年代
70	白磁六角皿	1	7706	肥前・有田窯	1840～1870年代
71	色絵花兎唐草文蓋付鉢・輪花皿	11	7067-7069	肥前・有田窯 深川製磁	大正～昭和前半
<b>9. 【鍋島藩窯】</b>					
72	色絵唐花文変形皿	1	6034	肥前・有田 岩谷川内藩窯	1650年代頃
73	色絵薄瑠璃唐花文皿	1	2316	肥前・有田 岩谷川内藩窯	1650年代頃
74	色絵群馬文変形皿	5	852	肥前・有田 岩谷川内藩窯	1650年代頃
75	色絵花文猪口	1	寄託	肥前・鍋島藩窯	1650～1670年代
76	染付雲文猪口	1	寄託	肥前・鍋島藩窯	1650～1670年代
77	色絵鸚鵡文猪口	1	寄託	肥前・鍋島藩窯	1650～1670年代
78	染付鷺文三脚付皿	1	252	肥前・鍋島藩窯 重要文化財	1690～1710年代
79	青磁染付寿字桃宝尽文雲形大皿	1	6958	肥前・鍋島藩窯	1690～1730年代
80	染付菊唐花文皿	1	163	肥前・鍋島藩窯	1690～1730年代
81	色絵薔薇文皿	1	25	肥前・鍋島藩窯	1690～1720年代
82	色絵巻軸文皿	1	687	肥前・鍋島藩窯	1700～1720年代
83	染付水草文皿	1	853	肥前・鍋島藩窯	1690～1720年代
84	色絵輪繫文皿	1	604	肥前・鍋島藩窯	1730～1750年代
85	染付松宝珠文大皿	1	6199	肥前・鍋島藩窯	1750～1770年代
86	染付波蝶文大皿	1	寄託	肥前・鍋島藩窯	1800～1860年代
87	染付蝶文牡丹花形皿	1	6972	肥前・鍋島藩窯か 肥前・鍋島藩窯か	19世紀
<b>10. 【長崎の陶磁器】</b>					
88	青磁陰刻草文三足付皿	1	756	肥前・波佐見窯	1630～1640年代
89	染付縄簾文水指	1	6677	釜山・和館窯	17世紀後半
90	刷毛地雪持笹文輪花皿	1	149	肥前・現川窯	1690～1740年代
91	三彩釉蓋付碗	5	7113	肥前・長与窯	1790～1820年代
92	染付瑠璃釉銹鉄瓢箪駒文小盃	1	7131	肥前・三川内窯	19世紀
93	染付花卉人物文小盃	1	寄託	中国・景德鎮窯	18世紀後半～19世紀初
94	染付唐花唐草文段重	1	7151	肥前・亀山窯	1820～1860年代



84 色絵輪繫文皿 肥前・鍋島藩窯  
1730～1750年代



91 三彩釉蓋付碗 肥前・長与窯  
1790年～1820年代

No.	資料名	点数	収蔵番号	生産地	年代
<b>【福岡の陶磁器】</b>					
95	藁灰釉筒茶碗	1	3418	豊前・上野窯 釜ノ口窯	1600～1630年代
96	飴釉肩衝水指	1	5282	豊前・上野窯	17世紀前半
97	藁灰釉茶碗 銘「玄峯」	1	113	筑前・高取窯 内ヶ磯窯	1610～1620年代
98	藁灰釉小壺	1	26	筑前・高取窯 内ヶ磯窯	1610～1620年代
99	藁灰飴釉掛分沓茶碗	1	826	筑前・高取窯 内ヶ磯窯	1610～1620年代
100	染付楼閣山水文手焙	1	4851	筑前・須恵窯	19世紀前半
101	染付草花文皿	1	140	筑後・朝妻窯	18世紀前半
<b>【熊本の陶磁器】</b>					
102	象嵌明和・喜楽銘茶碗	1	5195	肥後・八代窯 平山窯 喜楽	明和二年（1765）
103	伊羅保写茶碗	1	5938	肥後・八代窯	18世紀末～19世紀初
104	灰釉流角皿	1	99	肥後・小代窯	19世紀前半
105	灰釉結び文水指	1	5980	肥後	17世紀後半～18世紀
106	白磁牡丹花形皿	1	46	肥後・網田窯	1790～1820年代
<b>【大分・宮崎の陶磁器】</b>					
107	掛分釉瓶	1	2654	豊後・小鹿田窯	20世紀
108	呉須絵蘭竹文瓶	1	383	日向・蓬來山窯（丸山窯）	1830～1882年頃
<b>【鹿児島島の陶磁器】</b>					
109	褐釉水指	1	3260	薩摩	17世紀
110	小鮫肌釉茶入	1	573	薩摩・龍門司窯	18世紀末～19世紀前半
111	白釉碗	1	5953	薩摩	17世紀後半
112	黒蛇褐釉茶碗	1	578	薩摩・元立院窯 西餅田窯	17世紀後半
113	色絵橘文酒器	1	5205	薩摩・堅野窯系	19世紀
114	鉄絵幾何文耳付瓶（宋胡録手）	1	7188	薩摩・苗代川窯	19世紀
115	銹釉染付燭台	1	582	薩摩・平佐窯	安政四年（1857）
116	色絵梅樹鶏置物	1	8339	薩摩	18世紀後半～19世紀
<b>【沖縄の陶磁器】</b>					
117	焼締蓮座文台付瓶（瓶子）	1	4870	沖縄・喜名窯 か 知花窯	17世紀後半
118	緑釉湯庫	1	494	琉球・壺屋窯	18世紀後半
119	褐釉嘉瓶	1	490	琉球・壺屋窯	19世紀前半
120	呉須絵線条文対瓶（彫絵藍差）	1	498	琉球・壺屋窯	18世紀後半
121	鉄絵碗	1	525	琉球・湧田窯	17世紀前半
122	呉須絵花文皿	1	4877	琉球・壺屋窯	19世紀
123	褐釉瓢形瓶	1	4865	琉球・八重山窯	18世紀中葉～後半
<b>【組物の文様】</b>					
124	染付岩牡丹文皿	5	474	肥前・有田窯	1650～1660年代
125	染付鶉文輪花皿	5	6045	肥前・有田窯・南川原山	1660～1680年代
126	色絵青海波水仙文皿	5	28	肥前・鍋島藩窯	1700～1720年代



98 藁灰釉小壺 筑前・高取窯 内ヶ磯窯  
1610年代～1620年代



113 色絵橘文酒器 薩摩・堅野窯系  
19世紀

**(4) 現代の九州陶芸 (第2展示室)**

歴史的に多様な展開がみられる九州の陶芸は、それぞれ茶陶として、また商品性の高い美術工芸品として、あるいは民陶として今日に受け継がれています。

こうしたなかで、創作的な活動を続けている陶芸作家を選び、その代表作を一堂で紹介したのが第2展示室の「現代の九州陶芸」です。

現在、九州6県の113名による作品を展示しています。県別では佐賀県が最も多く、次いで福岡県、鹿児島県の順となります。

展示室では、日本工芸会に所属している作家作品、さらに日展系・民陶系などの作家作品を御覧になれます。また水指・茶入など茶道具関連の作品も鑑賞できます。なお、芸術院会員や重要無形文化財保持者の作品は展示ホール(有田焼からくりオルゴール時計横)に展示しています。また、寄贈いただいた青木龍山作品を毎月5～6点ずつ展示ホールに展示しています。

伝統的な陶芸技術を駆使した作品から、従来の陶芸技術とはおもむきの異なる前衛的な作品までが展示され、陶芸文化の多様性が示されています。

会期 平成26年11月～平成27年10月

(会期中企画展等のため一時的に撤収される場合がある)

**<所属別構成>**

日本工芸会	65名
日展系	35名
民陶系	3名
無所属	10名
計	113名

**<県別構成>**

佐賀県	67名
福岡県	26名
鹿児島県	9名
長崎県	6名
熊本県	4名
大分県	1名
計	113名

常設展 現代の九州陶芸				展示目録 2014.11～2015.10		展示総数113件 124点	
No.	氏名	県名	作品名	製作年	経歴	所属	
1	青木龍山	佐賀	連作「胡沙の舞」	平成3年(1991)		日展	
2	井上萬二	佐賀	白磁緑釉椿彫文面取壺	平成10年(1998)	館蔵	日本工芸会	
3	14代酒井田柿右衛門	佐賀	濁手撫子文大皿	平成10年(1998)	館蔵	日本工芸会	
4	中島宏	佐賀	青瓷線彫文壺	平成21年(2009)		日本工芸会	
5	中里逢庵	佐賀	叩き唐津三島耳付壺	昭和57年(1982)	第24回 日展出品作	日展	
6	14代今泉今右衛門	佐賀	色絵薄墨墨はじき雪文鉢	平成24年(2012)	館蔵	日本工芸会	
7	富村繁雄	佐賀	玳瑁蟹文扁壺	平成24年(2012)	第24回 知新会展出品作	日展	
8	寺崎康子	佐賀	飛翔	平成23年(2011)		日展	
9	青木清高	佐賀	青への想い	平成18年(2006)	第38回 日展出品作	日展	
10	石橋國男	佐賀	膨兆	平成15年(2003)	第25回 日本新工芸展出品作	日展	
11	今村博	佐賀	流双	平成24年(2012)	第44回 日展出品作	日展	
12	浦郷好文	佐賀	面取り花器「蒼風」	平成24年(2012)	第29回 西日本陶芸美術展出品	日展	
13	照井一玄	佐賀	潮韻	平成2年(1990)	1990年フイリッチャーチャレンジ国際陶芸展 入選作姉妹作品	日展	
14	熊本千治	佐賀	蒼刻彩器	平成22年(2010)		日展	
15	白武初芳	佐賀	天空の峰	平成25年(2013)	第35回 日本新工芸展出品作	日展	
16	田中忍	佐賀	白い夏Ⅷ	平成22年(2010)	第107回 九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日展	
17	辻聡彦	佐賀	「波立つ」	平成14年(2002)	第99回 九州山口陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵	日展	
18	大宅利秋	佐賀	流母	平成23年(2011)	第43回 日展出品作	日展	
19	中島康夫	佐賀	2010-鳥	平成22年(2010)	第32回 日本新工芸展出品作	日展	
20	2代松本佩山	佐賀	釉彩盛上「晩秋」文飾皿	平成15年～16年 (2003～2004)		無所属	
21	嶋田敏生	佐賀	風紋	昭和59年(1984)	第81回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵	無所属	
22	松尾重利	佐賀	方流	平成24年(2012)		日展	
23	福島清海	佐賀	連山	平成24(2012)	第33回 日本新工芸展出品作	日展	
24	藤井剛	佐賀	雪壁	平成7年(1995)	第34回 日本現代工芸展出品作	日展	
25	馬場九洲夫	佐賀	山景13	平成25年(2013)	第45回 日展出品作	日展	

No.	氏名	県名	作品名	製作年	経歴	所属
26	松尾博之	佐賀	氷雪の世界	平成25年(2013)	第27回 現代工芸九州会展 最高賞受賞作(青木龍山賞)	日展
27	前田泰昭	佐賀	西海の詩	平成22年(2010)	第42回 日展出品作	日展
28	松本幹治郎	佐賀	汀舞	平成20年(2008)	第40回 日展出品作	日展
29	宮尾正隆	佐賀	朝霧	平成25年(2013)	第52回 日本現代工芸展出品作	日展
30	岩田義實	佐賀	思考スル形	平成24年(2012)		無所属
31	藤ノ木土平	佐賀	唐津灰被台付多面壺	平成25年(2013)		無所属
32	大橋裕	佐賀	絵唐津草文皿	平成23年(2011)	第58回 日本伝統工芸展出品作	無所属
33	斉藤勉作	大分	黝木の葉蓋付壺	平成23年(2011)		日本工芸会
34	貞松善次	佐賀	陽炎	平成23年(2011)		日展
35	高木清次	長崎	青白磁猪香炉	平成23年(2011)		日展
36	井上俊一	福岡	錫白瑠璃金銀彩方器	昭和63年(1988)	館蔵	無所属
37	世良彰彦	福岡	雲の記憶	平成22年(2010)	京都美術ビエンナーレ出品作	日展
38	中森久明	福岡	氷壁	平成19年(2007)	第46回 日本現代工芸美術展出品作	日展
39	雷山陶秀	福岡	砦	平成23年(2011)	第66回 福岡県美術展	日展
40	高鶴元	福岡	梟の城	平成23年(2011)		無所属
41	梶原藤徳	福岡	窯変花器	平成23年(2011)		民陶
42	太田孝宏	福岡	飴釉打掛壺	平成24年(2012)		民陶
43	井上泰秋	熊本	ワラ白打掛流大皿	平成24年(2012)	第22回 日本陶芸展出品作	民陶
44	有山禮石	鹿児島	宙Ⅲ	平成25年(2013)	第68回 南日本美術展委嘱作家出品作	日展
45	有山長佑	鹿児島	爽夏影	平成24年(2012)	第44回 日展出品作	日展
46	厚東孝治	鹿児島	弥生一緑壁	平成26年(2014)	第53回 日本現代工芸美術展出品作	日展
47	久保満義	鹿児島	回帰 2014・I	平成26年(2014)	第53回 日本現代工芸美術展出品作	日展
48	高田さとこ	鹿児島	霞光-12・C	平成24年(2012)	第30回記念 南日本女流美術展 委嘱作家受賞作	日展
49	井上康德	佐賀	白磁青釉円刻文鉢	平成24年(2012)	2013年 日本陶芸展入選作	日本工芸会
50	江口勝美	佐賀	和紙染刳抜更紗軸管	平成9年(1997)	館蔵	日本工芸会
51	江口康成	佐賀	和紙染魚文陶箱	平成17年(2005)	第55回 佐賀県展出品作	日本工芸会
52	勝田文博	佐賀	和紙染山吹文花器	平成25年(2013)	第48回 西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
53	小笠原長春	佐賀	鍋島青磁唐草彫染付壺	平成20年(2008)		日本工芸会
54	梶原茂正	佐賀	月白壺	平成24年(2012)		日本工芸会
55	奥川俊右衛門	佐賀	白磁花瓶	平成22年(2011)		日本工芸会
56	小野隆治	佐賀	釉裏紅壺	平成25年(2013)	第60回 日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
58	河口純一	佐賀	釉裏彩華文花器	平成17年(2005)	第52回 伝統工芸展出品作	日本工芸会
59	熊本義泰	佐賀	青磁線文壺	平成22年(2010)	第46回 西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
60	坂本義弘	佐賀	染華銀彩鉢	平成15年(2003)	佐賀県陶芸協会展出品作	日本工芸会
57	金子認	佐賀	叩き朝鮮唐津壺	平成25年(2013)		日本工芸会
58	河口純一	佐賀	釉裏彩華文花器	平成17年(2005)	第52回 伝統工芸展出品作	日本工芸会
59	熊本義泰	佐賀	青磁線文壺	平成22年(2010)	第46回 西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
60	坂本義弘	佐賀	染華銀彩鉢	平成15年(2003)	佐賀県陶芸協会展出品作	日本工芸会
61	庄村健	佐賀	藍染花器	平成8年(1996)	第93回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
62	中尾英純	佐賀	和紙染菱文壺	平成24年(2012)		日本工芸会
63	中尾恭純	佐賀	四方襷文彩色象嵌面取花生	平成20年(2008)	第105回 九州山口陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
64	中尾龍純	佐賀	染付色小文壺	平成22年(2010)		日本工芸会
65	西山宗元	佐賀	絞り釉銀彩線文鉢	平成20年(2008)	第55回 日本伝統工芸展出品作	日本工芸会

No.	氏名	県名	作品名	製作年	経歴	所属
66	西山 正	佐賀	青白磁千段深鉢	平成7年(1995)	第92回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
67	納所 正一	佐賀	白磁鉢	平成17年(2005)		日本工芸会
68	松尾 潤	佐賀	塩窯彩花器	平成21年(2009)		日本工芸会
69	野中 拓	佐賀	天目幾何文花入	平成26年(2014)		日本工芸会
70	宮崎 祐輔	佐賀	紅錦銀彩六角陶管	平成25年(2013)	第48回 西部伝統工芸展	日本工芸会
71	高森 誠司	佐賀	青白磁釉彩線文鉢	平成22年(2010)	第58回 日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
72	山口 文彦	佐賀	青白磁線文深鉢	平成21年(2009)	県展出品作	日本工芸会
73	矢鋪 與左衛門	佐賀	青白磁偏壺	平成17年(2005)		日本工芸会
74	中村 清吾	佐賀	白磁鉢	平成25年(2013)	第110回 九州山口陶磁展 文部科学大臣賞	日本工芸会
75	松尾 勝也	佐賀	艶釉彩深鉢「想」	平成16年(2004)	第51回 日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
76	山口 幹彦	佐賀	白磁斜線文壺	平成13年(2001)	第49回 日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
77	川崎 精一	佐賀	カサブランカ陰刻鉢	平成25年(2013)	県展入選作	日本工芸会
78	百田 暁生	佐賀	—line— 蓋壺	平成25年(2013)		日本工芸会
79	14代中里太郎右衛門	佐賀	叩き唐津焼締壺	平成26年(2014)		日本工芸会
80	石原 祥嗣	福岡	黒地金彩直弧文陶箱	平成21年(2009)	第106回 九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
81	甲斐 一	福岡	刷毛目搔落草文鉢	平成24年(2012)	第47回 西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
82	熊谷 善光	福岡	白線文長壺	平成24年(2012)		日本工芸会
83	大村 就康	福岡	泥彩偏壺	平成24年(2012)		日本工芸会
84	佐々木 厚	福岡	象嵌花器	平成23年(2011)		日本工芸会
85	添田 和信	福岡	五稜壺	平成25年(2013)		日本工芸会
86	高鶴 淳一	福岡	鉄釉鉢	平成25年(2013)		日本工芸会
87	太田 秀隆	福岡	黍灰釉飛鉋掛分組鉢	平成24年(2012)	第59回 日本伝統工芸展出品作姉妹作品	日本工芸会
88	吉田 浩通	福岡	分銅文組盤	平成24年(2013)	第69回 福岡県美術展会員展出品作	日本工芸会
89	熊谷 光修	福岡	鉄釉大鉢	平成21年(2009)	福岡県伝統的工芸品展入賞作	日本工芸会
90	江口 秀山	長崎	長崎三彩 壺	昭和62年(1987)		日本工芸会
91	立井 清人	長崎	埋め込み大鉢	平成18年(2006)	第104回 九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
92	長野 恵之輔	長崎	線彫呉須流花器「向日葵」	平成25年(2013)	平成25年九州山口陶磁展 朝日新聞社賞	日本工芸会
93	山口 春利	長崎	白磁輪花壺	平成12年(2000)	第47回 日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
94	犬童 又郎	熊本	天目線文壺	平成20年(2008)		日本工芸会
95	久保田 烈工	熊本	青白磁流線文扁壺	平成2年(1990)	第87回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会



43 井上 泰秋(熊本) ワラ白打掛流大皿  
平成24年(2012)



56 小野 隆治(佐賀) 釉裏紅壺  
平成25年(2013)



No.	氏名	県名	作品名	製作年	経歴	所属
96	福吉浩一	熊本	炭化線象嵌花器	平成23年(2011)	第46回 西部伝統工芸展 熊本朝日放送賞受賞	日本工芸会
97	荒木幹二郎	鹿児島	苗代川線文壺	平成24年(2012)	第47回 西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
98	永吉一	鹿児島	鳥文鉢	平成25年(2013)	第68回 南日本美術展出品作	日本工芸会
99	竹之内彬裕	鹿児島	抜絵ほおずき文金彩蓋物	平成25年(2013)		日本工芸会
100	尾前喜八郎	鹿児島	彩色花器	平成26年(2014)	第42回 鹿児島陶芸展出品作	日本工芸会
101	福田忠夫	佐賀	炭化窯変壺	平成22年(2010)		無所属
102	徳澤守俊	福岡	焼締朝鮮唐津花器	平成22年(2010)	日本伝統工芸展陶芸部会展出品作	日本工芸会
103	渡久兵衛	福岡	枇杷釉茶碗	平成23年(2011)		日本工芸会
104	溝上藻風	佐賀	唐津焼締茶盃	平成26年(2014)		日展
105	熊谷保興	福岡	上野茶入	平成24年(2012)		日本工芸会
106	13代高取八山	福岡	高取耳付茶入	平成23年(2011)		無所属
107	中里重利	佐賀	青唐津扁壺	平成26年(2014)		日展
108	熊谷光甫	福岡	鉄釉茄子茶入	平成22年(2010)	第57回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
109	熊谷無造	福岡	上野大海茶入	平成23年(2011)		日本工芸会
110	鶴我淳二郎	福岡	木の葉天目茶碗	平成22年(2010)		日本工芸会
111	亀井又生庵	福岡	高取千段巻水指	平成24年(2012)	福岡県美術展正会員展出品作	日本工芸会
112	横石臥牛	長崎	水指「天翔鷺草」	平成25年(2013)	米寿記念作品	日本工芸会
113	亀井楽山	福岡	高取七宝耳付千段巻水指	平成23年(2011)		日本工芸会



73 矢鋪 與左衛門 (佐賀) 青白磁偏壺  
平成 17 年 (2005)



98 永吉 一 (鹿児島) 鳥文鉢  
平成 25 年 (2013)

## 2. 企画展・テーマ展など

### (1) 第111回九州山口陶磁展 (第1部美術工芸品・オブジェの部)

#### 趣 旨

我が国における磁器発祥の地、佐賀県有田町に日本全国の陶磁器製品を集め、一般の鑑賞に供し、技術の交流、品質の向上、デザインの改善を図り伝統工芸の継承と産業的発展を期して、この陶磁展を開催します。

<開催要項より>

九州山口陶磁展が、今年で111回目を迎えた。公募展としては、殆どこれまでにない長い伝統を有したもので、これまでに多くのすぐれた作家を輩出し、またここでの経験を生かし、これを糧として成長した作家も少なくないことを今回の応募作品数をもても実感した。全体の出品作品数は139点、そして昨年から全国に公募を拡大することにしてきたが、今年は14点と出品数も増え、全国規模での応募があることがしだいに認知され始めたと言えそうになってきた。

応募作品の全体はほんの一部を除いて一定のレベル以上の力量を持つ作品で占められており、この陶磁展の持つ伝統的な位置づけや重みを改めて認識させられた。

入選作品の全体は一定の標準以上のものがそろっているが、作品の傾向としては器を中心としていることはこれまでと変わりなく、また例年同様オブジェ系の作品では少し見劣りした印象を持った。作品としての器は伝統的の姿形を保ったものから、器から造形への変化を求めたものまで、その作行の幅は広いが、今日的な時代感を漂わしたものが多かったといえよう。

文部科学大臣賞を受賞した辻浩喜の「Shell」は薄手の磁胎を巧みに変化させ、器内面ではパール色に変化する光との調和を生かした作品である。深鉢形の器面全体に鎬を立てるなど、器内外面に意欲的な工夫を凝らした作品である。佐賀県知事賞を受賞した村上邦彦の「金彩七宝繫紋陶管」は職人的丁寧な技法と手法を駆使した、安定的な作品であり、しっかりとした伝統の中で育まれてきた作行を発揮している。そして、有田町長賞の中尾恭純の「象嵌亀甲文壺」は繊細な象嵌技法を駆使したものであるが、特にこの直線的な象嵌が球体に施文されていることの技術力には著しいものがある。

なお、審査は日本工芸会理事の塚本満、日展参事、日本新工芸家連盟理事長寺池静人と私の3人が担当した。

<審査長 三輪 嘉六氏 審査評より抜粋>



第一席 文部科学大臣賞 「Shell」  
辻 浩喜

- 会 期** 平成 26 年 4 月 29 日～5 月 9 日(11 日間)  
**会 場** 第 1・第 2 展示室  
**主 催** 佐賀県・有田町・有田商工会議所  
**出品概要** 入選 93 点 (うち入賞 14 点)  
**招待出品** 6 点 (第 1 部)  
**展示解説** 4 月 29 日 (火) 14 : 00～15 : 00  
 辻 浩喜 村上邦彦 中尾恭純  
 学芸課係長 藤原 友子  
**目 録** A4 版 23 ページ カラー図版 33 点  
**入 館 者** 7,824 人 1 日平均 711 人  
**審 査 員** (第 1 部)  
 三 輪 嘉 六 九州国立博物館館長  
 塚 本 満 日本工芸会理事  
 寺 池 静 人 日展参事  
 日本新工芸家連盟理事長

#### 第1部美術工芸品・オブジェの部 〈出品概要〉

( ) は昨年度分

県 名	出品者数	出品点数	入選点数	入賞点数
山口県	11(12)	14(14)	8(11)	0(2)
福岡県	16(16)	18(17)	9(11)	0(3)
佐賀県	67(71)	70(75)	56(44)	12(5)
長崎県	12(5)	12(5)	7(4)	2(2)
熊本県	4(5)	4(5)	3(5)	0(0)
大分県	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)
宮崎県	2(1)	2(1)	1(0)	0(0)
鹿児島県	2(4)	2(4)	1(3)	0(2)
沖縄県	2(1)	2(1)	2(0)	0(0)
全国	13(1)	14(1)	5(1)	0(0)
計	130(117)	139(124)	93(80)	14(14)



展示風景



表彰式（講堂）

<入賞者名簿>

賞	入賞作品名	氏名	住所
文部科学大臣賞	Shell	辻 浩喜	佐賀県西松浦郡有田町
2位・佐賀県知事賞	金彩七宝繫紋陶管	村上 邦彦	佐賀県西松浦郡有田町
3位・有田町長賞	象嵌亀甲文壺	中尾 恭純	佐賀県西松浦郡有田町
佐賀県陶芸協会賞	青白磁鎬彫深鉢	川添 貞秀	長崎県東彼杵郡波佐見町
朝日新聞社賞	氷雪の世界	松尾 博之	佐賀県西松浦郡有田町
熊本放送賞	嘆きの壁（連作）	嶋田 敏生	佐賀県西松浦郡有田町
佐賀県商工会議所連合会賞	噴水の側で－Ⅲ	田中 忍	佐賀県嬉野市
佐賀新聞社賞	海響	深川 剛	佐賀県西松浦郡有田町
サガテレビ賞	絞り釉金銀彩更紗文鉢	西山 宗元	佐賀県西松浦郡有田町
陶業時報社賞	和紙染鉢	中村 忍美こ	佐賀県西松浦郡有田町
西日本新聞社賞	象嵌鳥文鉢	立井 清人	長崎県東彼杵郡波佐見町
日刊工業新聞社賞	Rin	畑石 修嗣	佐賀県伊万里市
日本経済新聞社賞	－line－青白磁鉢	百田 暁生	佐賀県西松浦郡有田町
読売新聞社賞	練上波文組皿	草場 勇次	佐賀県西松浦郡有田町

<招待作品>（審査員・重要無形文化財）

作品名	出品者名	住所
白瓷鉢	塚本 満	岐阜県土岐市
方瓶（櫻）	寺池 静人	京都府京都市
白磁黄緑釉波文十角鉢	井上 萬二	佐賀県有田町
色絵雪花薄墨墨はじき桔梗文鉢	今右衛門窯代表 今泉 今右衛門	佐賀県有田町
濁手山つつじ草花地文蓋物	酒井田 柿右衛門	佐賀県有田町
青磁彫文壺	中島 宏	佐賀県武雄市

## (2) 新収蔵品展

### 趣 旨

平成 25 年度に購入や寄贈を受け、新たに館蔵品となった陶磁器作品 34 件 (63 点) を初めてお披露目する「新収蔵品展」を開催します。

今回は、江戸時代の有田焼「染付葡萄鳥文瓢形水注」、「色絵赤玉棕櫚文婦人像」、「色絵虎置物」を中心に、さまざまな陶磁器が楽しめます。新たに加わった九州陶磁文化館の名品を、是非この機会にお楽しみください。

<広報用資料より>

会 期	平成 26 年 5 月 16 日～6 月 22 日 (33 日間)
会 場	第 1 展示室
主 催	佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	佐賀の古陶磁 (有田焼ほか) 長崎の古陶磁 (亀山焼・三川内焼ほか) 近現代の陶磁 (有田焼・源六焼・大聖寺焼ほか) 現代作家作品 計 34 件 63 点
展示解説	5 月 24 日 (土) 14:00～15:00 学芸課課長 家田淳一 6 月 14 日 (土) 14:00～15:00 学芸課主幹 徳永貞紹
入 館 者	3,616 人 1 日平均 110 人



展示風景



展示解説

## (3) 第 23 回 陶千坊展

### 趣 旨

陶千坊展は、県立有田窯業大学校の絵付研修終了生による展覧会として始まりました。今では陶芸家が、「子どものように純真・純粋な心で焼き物を制作する仲間として集い、自由で平等な運営により相乗的な技術向上と発展を目指す」ことを趣旨として開催される陶芸展です。

第 23 回となる今回は、19 名の陶芸家が自慢の新作を披露されます。

<広報用資料より>

会 期	平成 26 年 7 月 1 日～7 月 6 日 (6 日間)
会 場	第 1 展示室
主 催	陶千坊
後 援	佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	陶芸作品全般 (オブジェ、器、陶人形等) 約 300 点を展示
入 館 者	617 人 1 日平均 103 人



展示風景



展示風景

#### (4) 第 28 回 現代工芸美術九州会展

##### 趣 旨

現代工芸美術家協会九州会もこの九州の地に誕生して、半世紀以上の歳月が流れてまいりました。私たちは本部会である現代工芸美術家協会に主張を軸としてまいりましたが、九州会展も今回で、28 回を迎えることができました。

これもひとえに、皆様の変わらぬ、ご支援、ご芳情の賜と、我々九州会一同心より感謝いたしております。

1961 年（昭和 36 年）の現代工芸創立当時の基本理念である「作者自身の内なる想いの表現に重きを置く」という考え方は 50 数年を経た現在でも確実にこの理念に賛同し活動する九州の工芸家の中に脈々と受け継がれているものと信じております。

今回の第 28 回展におきましても、地域の素材を生かした個性豊かな工芸作品を呼ぶにふさわしい作品が公募されております。

九州沖縄、各県の地域産業の更なる発展と、新しい作家の登竜門の場として、次の時代に大きく貢献することと確信いたしております。

皆様、ご高覧の上ご指導ご鞭撻のほど、賜ますよう、よろしく申し上げます。

<現代工芸美術家協会九州会会長 青木清高氏

あいさつより>

会 期 平成 26 年 7 月 20 日～7 月 27 日(8 日間)  
 会 場 第 1 展示室  
 主 催 現代工芸美術家協会九州会  
 後 援 佐賀県・福岡県・鹿児島県・長崎県・熊本県  
 宮崎県・大分県・沖縄県・有田町・  
 佐賀県立九州陶磁文化館

展示内容 62 点(陶磁・染織・人形・ガラス・紙・七宝)

出品目録 B5 版 4 ページ

入 館 者 913 人 1 日平均 114 人



青木龍山賞 「地の章～砂紋扁壺'14～」  
 興 梶 宜 伸

##### 受賞者

賞	氏 名	題 名	住 所
青 木 龍 山 賞	興 梶 宜 伸	地の章～砂紋扁壺'14～	佐賀県
現代工芸美術家協会九州会会長賞	藤 井 剛	流水	佐賀県
佐 賀 県 知 事 賞	城 崎 典 子	謳う女	福岡県
福 岡 県 知 事 賞	藤 田 晃 一	寂寞	福岡県
鹿 児 島 県 知 事 賞	橋 口 程 二	春待	鹿児島県
長 崎 県 知 事 賞	松 永 好 昭	無限	福岡県
熊 本 県 知 事 賞	秋 永 尚 子	林立す	熊本県
宮 崎 県 知 事 賞	竹 内 清 美	おもいで	宮崎県
大 分 県 知 事 賞	黒 阪 かおり	手品師の一笑い	大分県
沖 縄 県 知 事 賞	南 加	年輪 1 4 -IV	鹿児島県
佐賀県立九州陶磁文化館長賞	下 平 隆 義	多々良の干潟	佐賀県
有 田 町 長 賞	山 口 稜 平	時の涙	佐賀県

#### (5) 有田窯業大学校 30 周年記念 OB 展

##### 趣 旨

有田窯業大学校は、窯業界の後継者・技術者の育成を目的に、昭和 60 年 4 月に佐賀県立の専修学校として開校し、これまで約 2000 名の卒業生を送り出している。平成 26 年度は本校開校 30 周年に当たることから、これまでの当校の人材育成の成果を広く発表する場として OB 展を実施する。また、30 周年を記念し、公開講座を実施する。

<実施要項より>

会 期 平成 26 年 7 月 30 日～8 月 10 日 (11 日間)  
 会 場 第 1 展示室  
 主 催 有田窯業大学校  
 共 催 有田窯業大学校同窓会  
 後 援 (公) 窯業教育振興会・九州陶磁文化館

展示内容 約 50 点

関連催事 公開講座「有田の 400 年～始まりから今」

7 月 30 (水) 15 : 00～16 : 30

九州陶磁文化館 名誉顧問 大橋 康二

出品目録 A4 版 1 ページ

入 館 者 1,355 人 1 日平均 123 人



展示風景



講演会（講堂）

**（6）～伊万里・有田焼手塩皿 collection  
創出プロジェクト～  
ちいさなちいさな小皿 おてしよ皿展**

**趣 旨**

“おてしよ”あるいは“手塩皿”とは、元々調味料としての塩を食卓で盛るための手のひらサイズの小皿のことで、今日“豆皿”となどとも呼ばれています。

伊万里、有田、嬉野吉田地区の窯元 21 社が参加する「伊万里・有田焼手塩皿 collection 創出プロジェクト」は、有田焼創業より 400 年の中で生まれた技術を現代に甦らせるとともに、人材育成や有田焼産地の活性化に繋げる目的で平成 24 年度に発足したプロジェクトです。

このプロジェクトでは、世界的な江戸時代の有田磁器コレクションである「柴田夫妻コレクション」から選んだ 13 点の手塩皿を教材として、その復刻に挑むと同時に各窯元が現代のライフスタイルに合わせた独自のオリジナル商品を製作しました。そしてすでにこのオリジナル商品は昨年度名古屋や東京で発表し、近年にない大きな反響を受けているところです。

このたび、これまでの 2 年間の研究成果を知っていたくと同時に、江戸時代の有田焼の手塩皿が新たな形で現代に甦った姿を広く御覧いただくため、作品展が開催されます。  
<広報資料より>

- 会 期** 平成 26 年 8 月 19 日～8 月 31 日（11 日間）  
**会 場** 第 1 展示室  
**主 催** 伊万里・有田焼手塩皿 Collection 創出プロジェクト  
 佐賀県陶磁器工業協同組合  
**展示内容** 教材とした柴田夫妻コレクション 13 点とその復刻にチャレンジした軌跡と復刻品及び各社のオリジナル装飾を施した手塩皿を展示。  
 展示点数約 1000 点。  
**入 館 者** 1,545 人 1 日平均 140 人



展示風景



展示風景



展示風景

## (7) 第13回伊万里・有田焼伝統工芸士展

### 趣 旨

伝統工芸士とは、経済産業大臣認定の資格制度で、伝統的工芸品の認定資格に合格した技術者のことです。伊万里・有田焼は経済産業大臣によって伝統的工芸品として認定されており、現在、「ろくろ部門」、「下絵付け部門」、「上絵付け部門」で、あわせて89名の伝統工芸士が活躍されています。当展は、伊万里・有田焼の制作に関わる伝統芸士の方々の作品を一堂に展示し、その優れた技術と活動を紹介します。

<広報資料より>



展示風景



実演風景

会 期	平成 26 年 9 月 6 日～9 月 21 日 (15 日間)
会 場	第 1 展示室
主 催	伊万里・有田焼伝統工芸士会
後 援	(一財) 伝統的工芸品産業振興協会 佐賀県陶磁器工業協同組合 佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	伊万里・有田焼伝統工芸士会員による作品 約 100 点
入 館 者	2,382 人 1 日平均 159 人

## (8) 有田焼創業 400 年事業 特別企画展 白き黄金ー有田・伊万里・武雄・嬉野の磁器 の美と技ー

### 趣 旨

有田焼創業 400 年事業では、焼き物文化等の発信として、ルーツを同じくする「伊万里・有田焼」産地を形成する関係 4 市町（有田町、伊万里市、武雄市、嬉野市）との連携により、このたび、九州陶磁文化館において、下記のとおり、特別企画展「白き黄金」を開催します。

同産地においては、1616 年に有田の地で日本初となる磁器が焼成されて以来、江戸時代から現代に至るまで、各地域で特色ある磁器の生産が行われており、今回の特別企画展では、400 年に及ぶ産地の歴史とともに、各地域で生み出された磁器を展示することにより、「伊万里・有田焼」の美しさと技を紹介します。

また、期間中は、併催事業として、「チームラボ」制作による、国内初となる最新デジタルアート「未来の有田焼があるカフェ」の実演展示や、九州陶磁文化館の所蔵品などを使ったワークショップを行うとともに、関係 4 市町の特産品の販売、焼物絵付け体験や PR イベントなどを実施します。<広報用資料より>

会 期	平成 26 年 10 月 4 日～11 月 24 日 (47 日間)
会 場	第 1・第 2・第 3 展示室
主 催	佐賀県立九州陶磁文化館 佐賀県有田焼創業 400 年事業実行委員会
観 覧 料	無料
展示概要	序章 ・磁器産業の萌芽と展開 陶石・産地・人 ・伊万里・有田焼産地の今 有田・伊万里・ 武雄・嬉野 1. 有田 多彩な美と技 ・江戸の美と技 ・近代の美と技 ・伝統と創造 2. 伊万里 鍋島藩窯と大川内山の典雅 ・孤高の美 ・精巧なる技 3. 武雄 磁器草創の名窯、蘭学と近代化の華 ・磁器草創期の名窯 ・蘭学と近代化の磁器 ・光さす器 ・新たなる美の創成 4. 嬉野 新奇と優美のデザイン ・幻の初期色絵 ・茶の里の青磁 ・志田焼漫画

- ・多彩な嬉野焼  
計 126 件 203 点
- 展示解説** 10 月 4 日（土）より毎週土曜日  
14：00～15：00
- 関連催事**
  - (1) チームラボ「有田焼カフェ」  
〈開催日〉10 月 4 日（土）～  
11 月 24 日（月・振休）
  - ・「猪子寿之氏ギャラリートーク」  
〈開催日〉11 月 1 日（土）15：00
  - (2) 「物産販売コーナー」  
〈開催日〉10 月 4 日（土）～  
11 月 24 日（月・振休）
  - (3) 「記念茶会」  
茶道裏千家 南宗紅社中  
〈開催日〉10 月 4 日（土）11：30～
  - (4) 「アルモカレットミュージアムコンサート」  
ヴァイオリン演奏：米倉慧佳氏  
クラリネット演奏：白水摩由子氏  
チェロ演奏：井上忍氏  
ピアノ演奏：白水風歌氏  
〈開催日〉10 月 25 日（土）  
①11：00～11：45  
②15：00～15：45
  - (5) 「江副友美ミュージアムコンサート」  
ソプラノ歌手 江副友美氏  
〈開催日〉11 月 3 日（月・祝）  
①11：00～11：30  
②13：30～14：00
  - (6) 関係 4 市町の連携事業  
・「焼物絵付け体験」（料金：500 円）  
〈開催日〉

- ①伊万里焼 10 月 12 日（日）
- ②有田焼 10 月 19 日（日）
- ③武雄焼 10 月 26 日（日）
- ④肥前吉田焼 11 月 16 日（日）  
11：00～15：00
- ・「伊万里の日 いまりんモーモちゃんが  
やってくる！」  
〈開催日〉10 月 12 日（日）  
10：00～16：00
- ・「有田の日 皿踊り」  
〈開催日〉10 月 19 日（日）
- ・「武雄の日 指湯体験・特産品販売」  
〈開催日〉10 月 26 日（日）
- ・「嬉野の日 嬉野温泉足湯体験」  
〈開催日〉11 月 16 日（日）
- (7) 「佐賀の地酒でカンパイ！」  
〈開催日〉11 月 22 日（土）～24 日  
（月・振休）

- ・ **SAGA MEDIA ARTS PROJECT 2014**  
**MEDIA BUTTERFLY in ARITA**  
（文化課主催）
  - ・ チームラボ「世界は、解き放たれ、そして、連なっていくー有田焼ー」  
〈開催日〉11 月 1 日（土）～11 月 23 日（日）
  - ・ サントリー美術館ワークショップ  
「有田焼をデザインする！」  
〈開催日〉11 月 1 日（土）～23 日（日）
- 入館者** 13,065 人 1 日平均 278 人  
**展示図録** A4 版・164 ページ  
佐賀県立九州陶磁文化館 編集・発行



開会式



展示風景（第 2 展示室）



展示風景（第 1 展示室）



展示風景（第 3 展示室）





展示解説



アルモニア・カルテットミュージアムコンサート  
(第4展示室)



チームラボ 有田焼カフェ (第1展示室)



江副友美氏ミュージアムコンサート  
(第4展示室)



猪子寿之氏ギャラリートーク (展示ホール)



焼物絵付け体験  
(エントランスホール)



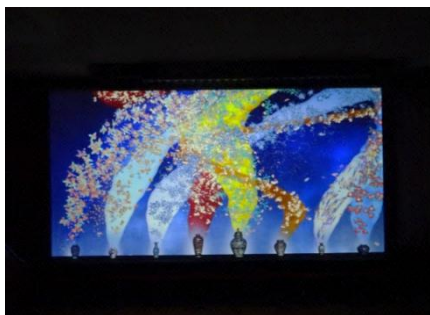
物産販売コーナー (エントランスホール)



「佐賀の地酒でカンパイ!」  
(エントランスホール)



茶道裏千家 南宗紅社中  
記念茶会 (エントランスホール)



MEDIA BUTTERFLY in ARITA

チームラボ

「世界は、解き放たれ、そして、  
連なっていくー有田焼」(講堂)



MEDIA BUTTERFLY in ARITA

サントリー美術館ワークショップ

「有田焼をデザインする！」(研修室)

### (9) 第38回九州藍筍会展

#### 趣 旨

九州藍筍会(らんじゅんかい)では、昭和51年に結成された書道研究会で、昭和52年の佐賀市で開催された第一回展から九州各地で会員作品の発表展を開催してきました。

今年度の第38回展は、特に有田で開催されることから、会員各自がこれまでの仮名書を主体にした額、軸、屏風などに加え、ろくろ成形のさらに和歌を書いた陶書作品が多数展示されます。<広報資料より>

会 期 平成26年12月2日～12月7日(6日間)

会 場 第1展示室

主 催 九州藍筍会

後 援 読売新聞社

佐賀県立九州陶磁文化館

展示内容 書作品(主に仮名書)

・軸、額、砵、卷子、屏風45点

・ろくろ製作による丸皿への陶書作品約60点

・いろはかるた 約50枚

入 館 者 754人 1日平均126人



展示風景



展示風景

### (10) 新春展「吉祥の器」

#### 趣 旨

九州陶磁文化館では、お正月にふさわしい新春展「吉祥の器」を開催します。古来より、日本では幸福をもたらす吉祥文様を用いてきました。有田焼をはじめとするやきものにも様々な吉祥文様が描かれています。

展覧会では、昔も今も変わらぬ人々の様々な願い(長寿・富貴・子孫繁栄・栄達・招福)を込めて作られた、華やかな吉祥の器「色絵吉祥文輪花大皿(いろえきっしょうもりんかおおざら)」、「釉彩盛上羊文大皿(ゆうさいもりあげひつじもんおおざら)」など、約70点を展示します。<広報用資料より>

会 期 平成26年12月20日～平成27年1月12日  
(19日間)

会 場 第1展示室

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

展示内容 1.長寿

2.富貴

3.栄達

4.子孫繁栄

5.招福

計40件69点

展示解説 平成26年1月10日(土)14:00～15:00

学芸課 増田圭 井嶋玲和

入 館 者 1,743人 1日平均92人



展示風景



展示解説

### (11) 第46回 有田工業高等学校卒業制作展 趣 旨

本校は工業の原点である「ものづくり」を通して、創造的で、行動力に満ちた、他者への思いやりの心を持つ人間性豊かなスペシャリストの育成を目指しております。

作品は若者の特権である柔軟な発想、鋭い感性をもって、多種多様な分野に果敢に挑戦して制作したものです。内容につきましてはまだまだのところがあると思いますが、ご指導、ご鞭撻を賜りたいと存じます。

この作品展は、46年前デザイン科のみでスタートしましたが、平成元年よりセラミック科が加わり年ごとに充実し、西暦2000年には創立100周年を機に本校の一層の発展を期して全校・全学科をあげて開催することになりました。

そして、今年度は創立115年にあたり、今後も「ものづくり」の有工、「ものづくり魂」を育む有工の更なる飛躍を目指す所存でございますので、ご理解とご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

〈開催要項より〉

会 期	平成 27 年 1 月 20 日～1 月 25 日 (6 日間)
会 場	第 1 展示室および展示ホール エントランスホール・一般研修室
主 催	佐賀県立有田工業高等学校
後 援	佐賀県立九州陶磁文化館
出品概要	生徒 210 名による作品約 500 点
展示内容	全日制・定時制・聴講生全学科の卒業生が 課題研究で取り組んだ作品を中心に展示
課題研究 発表会	【デザイン科】 1 月 22 日 9 : 00～15 : 00 【セラミック科】 1 月 23 日 8 : 30～13 : 00 対象: 全校生、一般 場所: 九州陶磁文化館講堂
入 館 者	2,107 人 1 日平均 351 人



展示風景 (展示ホール)



展示風景 (研修室)



展示風景 (第一展示室)



課題研究発表会 (講堂)

## (12) 第33回 西松浦郡小・中学校学童美術展

### 趣 旨

本展示展を通して、子どもたちの造形的な創造活動の能力を伸ばすとともに、創造の喜びを味わわせ、美術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。

保護者および、地域住民の皆様に、子どもたちの学習の成果を公開し、幅広く学校教育および造形教育への理解と協力を願う。

地域の特性を生かした作品を展示することにより、子どもたちの地域社会への興味を喚起し、伝統文化を継承し、発展させようとする高い志を育む。

<開催要項より>



展示風景

会 期 平成 27 年 1 月 27 日～2 月 1 日 (6 日間)  
 会 場 第 1 展示室  
 主 催 有田町教育研究会造形教育部会  
 共 催 有田町教育委員会  
 後 援 佐賀県立九州陶磁文化館  
 展示内容 日々の授業の中から生まれた、子どもたちの

日々の授業の中から生まれた、子どもたちの  
 図工・美術作品全般。「絵画」「デザイン」「線  
 描」「立体」の 4 部門からなる。立体部門は、  
 地域の特色から、焼き物の作品中心となっ  
 ている。展示作品は、郡や県の審査会で、特に  
 優秀と認められた作品で、特に優秀と認めら  
 れた有田町内の小学校 4 校、中学校 2 校出品  
 された児童、生徒の作品の中から選抜されて  
 いる。

作 品 数 平面作品 (県特選、県準特選) 50 点  
 立体作品  
 (県特選、県準特選、郡特選) 約 200 点  
 計約 250 点

入 館 者 1,739 人 1 日平均 290 人

## (13) 九陶陶芸教室 OB 有志展

### 趣 旨

九州陶磁文化館では、開館翌年の昭和 56 年度から平成 24 年度まで、初心者を対象とした陶芸教室を実施してきました。今回の展示会は、その近年の修了者有志が、陶芸教室で得た知識と体験をもとに自己研鑽に努めてきた結果をお披露目する作品展です。茶碗、壺、皿やランプシェードなどの実用品からオブジェまで、多彩な陶器作品が展示されます。

自ら体験した陶芸の作る喜び、楽しさ、奥深さなどを少しでも多くの人に伝えることを目的に開催されますので、是非御来館ください。<広報用資料より>

会 期 平成 27 年 2 月 10 日～2 月 15 日 (6 日間)  
 会 場 第 1 展示室  
 主 催 九陶陶芸教室 OB 有志  
 後 援 佐賀県立九州陶磁文化館  
 展示内容 茶碗、壺、皿、鉢、花瓶、ランプシェード、  
 オブジェなど

作 品 数 約 200 点

入 館 者 1,378 人 1 日平均 230 人



展示風景



展示風景

#### (14) 第26回九州陶磁器デザイナー協会展

##### 趣 旨

DAKTでは、'14DAKT展においてメンバーの陶磁器製品・作品の展示にあたり、製品・作品の評価の重要な要素の一つである価格を製品・作品と共に提示することで、製品・作品の性質や市場の要求にかなっているかを明確にすることを試みた。

'15DAKT展では、テーマを「おみやげ」とし、更に消費者の趣向や購買意欲と製品・作品のアイテムや内容の適合性について理解を深めることを目的とする。その方法として今回は、観覧者の趣向を可視化するため、「いいね！ピン」を製品・作品のキャプションに観覧者に刺してもらうと共に、受付横にガチャポン販売機を設置し、ガチャポンを近年大きく発展した「自分に対するおみやげ」または、「趣向を満たすアイテム」と捉え、その需要の傾向と陶磁器アイテムへとしてのマッチング、継続性、採算性等の可否を探る。そのため、受付において、購買者への聞き取り、市場調査を実施する。

<開催要項より>



展示風景

会 期	平成 27年 2月 24日～3月 1日 (6日間)
会 場	第1展示室
主 催	九州陶磁器デザイナー協会
後 援	有田町 波佐見町 佐賀県陶磁器工業協同組合 波佐見陶磁器工業協同組合 佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	九州陶磁器デザイナー協会の会員によるテーマに合わせた陶磁器作品
作 品 数	約 300 点
入 館 者	1,336 人 1日平均 223 人



展示風景

#### (15) 第29回有田窯業大学校卒業制作展

##### 趣 旨

学生が真摯に窯業技術の習得に取り組んだ学生生活の集大成である「卒業制作」の作品を展示し、来訪者の意見、アドバイスをいただくことにより、学生の今後の制作活動に役立てることを目的とする。

<開催要項より>



展示風景

会 期	平成 27年 3月 3日～3月 8日 (6日間)
会 場	第1展示室および展示ホール、 エントランス、茶室
主 催	佐賀県立有田窯業大学校 第29回卒業制作展実行委員会
後 援	有田町、公益財団法人窯業教育振興会、 佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	学生 21 名による作品約 100 件 300 点 (食器、花器、オブジェ、室内装飾品、有田の 伝統技法による飯碗・皿・湯呑など)
入 館 者	1,549 人 1日平均 258 人

## (16) 第 30 回有田陶交会展

### 趣 旨

有田陶交会は、有田焼の製造に携わる窯元の青年たち（30～40 歳代）で構成された団体です。このたび、同会の主催により、第 30 回有田陶交会展「有田の変」が下記のとおり開催されます。

今回、有田焼創業 400 年を新たなスタートととらえ、若手窯元が次の世代に向けて有田焼を発信していくという思いを込めて、「変化」「変革」をイメージした「有田の変」がテーマとなっています。各窯元がこれからどのようなモノづくりにチャレンジしていくのか、その心意気を感じていただければと思います。

< 広報用資料より >

会 期	平成 27 年 3 月 17 日～3 月 22 日（6 日間）
会 場	第 1 展示室
主 催	有田陶交会
後 援	肥前陶磁器商工協同組合 佐賀県陶磁器工業協同組合 佐賀県立九州陶磁文化館
出品概要	有田陶交会に参加している 40 窯元のうち 12 窯元により制作発表される作品約 150 点。
入 館 者	1,355 人 1 日平均 226 人



展示風景



展示風景

### 3. 利用状況

#### ◎月毎の入館者数

月	開館日数	入館者数
4月	26	5,917
5月	28	7,451
6月	25	2,169
7月	28	2,896
8月	27	3,319
9月	26	3,839
10月	28	5,582

月	開館日数	入館者数
11月	28	8,661
12月	24	2,227
1月	28	5,157
2月	24	4,779
3月	26	5,156
合計	318	57,153
平均	27	4,763

#### ◎展覧会別の入館者数（開催順）

No.	展 覧 会 名		会 期	入館者数
1	第 111 回 九州山口陶磁展		4/29～5/9	7,824
2	新収蔵品展	主催	5/16～6/22	3,616
3	第 23 回 陶千坊展		7/1～7/6	617
4	第 28 回 現代工芸美術九州会展		7/20～7/27	913
5	有田窯業大学校 30 周年記念 OB 展		7/30～8/10	1,355
6	ちいさなちいさな小皿 おてしよ皿展		8/19～8/31	1,545
7	第 13 回伊万里・有田焼伝統工芸士展		9/6～9/21	2,382
8	特別企画展 白き黄金 —有田・伊万里・武雄・嬉野の磁器の美と技—	主催	10/4～11/24	13,065
9	第 38 回九州藍筍会展		12/2～12/7	754
10	新春展 吉祥の器	主催	12/20～1/12	1,743
11	第 46 回 有田工業高等学校卒業制作展		1/20～1/25	2,107
12	第 33 回 西松浦郡小・中学校学童美術展		1/27～2/1	1,739
13	九陶陶芸教室OB有志展		2/10～2/15	1,378
14	第 26 回 九州陶磁器デザイナー協会展		2/24～3/1	1,336
15	第 29 回 有田窯業大学校卒業制作展		3/3～3/8	1,549
16	第 30 回 有田陶交会展		3/17～3/22	1,355
	合 計			43,278

#### 4. 館蔵資料等の貸出

No.	事業・展覧会・目的	貸出期間	貸出先	貸出件数
1	愛知県陶磁資料館常設展「猿投・瀬戸：全国古窯陶磁資料展」に出品	H26. 4. 1～ H27. 3. 31	愛知県陶磁資料館	29件 183点
2	佐賀県議会議長室に展示	H26. 4. 1～ H27. 3. 31	佐賀県議会事務局	2件 2点
3	佐賀県首都圏営業本部応接室に展示	H26. 4. 1～ H27. 3. 31	佐賀県首都圏営業本部	2件 2点
4	佐賀城本丸歴史間御玄関における「県内博物館施設 PR コーナー」に展示	H26. 4. 1～ H27. 3. 31	佐賀県立佐賀城本丸歴史館	4件 8点
5	佐賀県立名護屋城博物館常設展示「日本列島と朝鮮半島の交流史」に展示	H26. 4. 1～ H27. 3. 31	佐賀県立名護屋城博物館	5件 6点
6	来賓室、副知事室に展示のため	H26. 4. 1～ H27. 3. 31	佐賀県秘書課	2件 2点
7	佐賀県教育長室に展示のため	H26. 4. 1～ H27. 3. 31	佐賀県教育庁教育支援課	1件 1点
8	愛知県陶磁美術館特別企画展「桃山・江戸の華やぎ 古唐津・古武雄」に出品	H26. 4. 2～ H26. 9. 30	愛知県陶磁美術館	9件 9点
9	愛知県陶磁美術館特別企画展「桃山・江戸の華やぎ 古唐津・古武雄」に出品	H26. 4. 3～ H26. 6. 25	愛知県陶磁美術館	65件 65点
10	三重津海軍所跡から出土した磁器の産地同定のため胎土の成分分析を実施するにあたり、産地が確定している試料について磁器胎土成分分析を実施し比較試料とするため	H26. 6. 6～ H26. 7. 31	佐賀市教育委員会	22件 22点
11	町田市立博物館『江戸陶磁のモダニズムー古武雄ー』展に出品	H26. 6. 17～ H26. 9. 19	町田市立博物館	65件 65点
12	薩摩伝承館特別展「大名茶の時代 薩摩と九州山口の茶」に出品	H26. 6. 20～ H26. 8. 31	株式会社指宿白水館 薩摩伝承館	15件 19点
13	京王プラザホテルにおける「有田・伊万里やきもの夏まつり」内『王侯貴族の古伊万里展』出品	H26. 6. 24～ H26. 8. 7	佐賀県有田焼創業 400 年事業実行委員会	4件 4点
14	佐賀大学美術館「芸術と経済ーアートとお金の意外な関係」展に展示	H26. 7. 22～ H26. 8. 28	国立大学法人 佐賀大学	13件 13点
15	九州国立博物館文化交流展示「海の道、アジアの路」におけるトピック展示「柿右衛門ー受け継がれる技と美ー」に展示	H26. 8. 28～ H27. 5. 31	九州国立博物館	4件 4点
16	巡回展「没後 400 年 古田織部展」に出品	H26. 12. 1～ H27. 12. 1	株式会社 NHK プロモーション	4件 8点
17	佐賀城本丸歴史館 開館 10 周年記念特別展 鍋島直正生誕 200 年記念「大閑叟展」に展示	H26. 9. 22～ H26. 12. 22	佐賀城本丸歴史館	1件 1点
18	メディア芸術さが事業に係る作品展示（チームラボ 2014 世界は解き放たれ、そして、連なっていくー有田焼）	H26. 10. 27～ H26. 11. 25	佐賀県文化課	4件 4点
平成 26 年度 貸出数		251 件 418 点		

#### 5. 資料閲覧・写真撮影・フィルム借用・印刷物等掲載・複製申請処理

平成 26 年 4 月 1 日～27 年 3 月 31 日 96 件 (377 点)

※この他、施設としての写真撮影・フィルム借用・印刷物掲載が 17 件 42 点ありました。



## 教育普及活動

### 1. 展示案内

団体案内は予約制だが、要望に応じて随時対応している。

#### 平成26年度 展示案内実施回数

月	実施回数					人数						
	学芸 (館長・ 顧問)	総務	嘱託			計	学芸 (館長・ 顧問)	総務	嘱託			計
			小計	予約	予約なし				小計	予約	予約なし	
4月	10	0	5	5	0	15	86	0	125	125	0	211
5月	14	0	6	6	0	20	239	0	166	166	0	405
6月	13	0	9	7	2	22	135	0	107	101	6	242
7月	10	0	4	4	0	14	126	0	159	159	0	285
8月	11	0	6	5	1	17	160	0	119	115	4	279
9月	7	0	5	5	0	12	58	0	199	199	0	257
10月	12	0	7	7	0	19	244	0	186	186	0	430
11月	21	0	7	6	1	28	361	0	196	172	24	557
12月	4	0	3	2	1	7	56	0	35	28	7	91
1月	8	0	5	4	1	13	150	0	165	145	20	315
2月	4	0	11	11	0	15	29	0	185	185	0	214
3月	3	0	11	11	0	14	34	0	187	187	0	221
	117	0	79	73	6	196	1,678	0	1,829	1,768	61	3,507

#### 平成26年度 団体観覧

	展示案内		自由観覧		学校行事観覧		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	3	76	3	91	2	71	8	238
5月	7	214	6	191	3	148	16	553
6月	4	126	3	81	0	0	7	207
7月	4	187	1	20	0	0	5	207
8月	4	165	3	80	2	62	9	307
9月	4	122	7	194	3	129	14	445
10月	7	324	9	438	1	33	17	795
11月	7	217	11	339	5	399	23	955
12月	2	71	2	52	0	0	4	123
1月	7	239	4	123	15	1,035	26	1,397
2月	4	106	9	308	3	128	16	542
3月	5	138	12	416	2	82	19	636
計	58	1,985	70	2,333	36	2,087	164	6,405

\*学校行事観覧(団体)は、案内の有無に関らず記載

## 2. 地域主催イベントとの関連催事

### (1) 第111回「九州山口陶磁展」関連催事

#### 趣 旨

九州陶磁文化館では有田陶器市の期間に第2回目となる「九陶バザール♪」を開催します。

今回は新たな取り組みとして、有田駅から九州陶磁文化館までジャンボタクシーによるシャトル便を運行します。

第111回九州山口陶磁展と併せてお楽しみください。

<広報用資料より>

期 間 平成 26年 4月 29日 (火・祝)  
～5月 5日 (月・祝)

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館館内及び  
アプローチデッキ

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 軽食やお菓子、雑貨など、さまざまな個性あふれる14の店舗が九州陶磁文化館に出店。柿右衛門窯、今右衛門、源右衛門窯のやきものなどが当たる抽選会を実施。

(抽選会参加者数 2,844人)



シャトル便乗場告知看板



出店風景 (館内)



出店風景 (館外)



出店風景 (館内)



抽選会

## (2) 第11回「有田雛のやきものまつり」

### 関連展示

#### 第10回「やきものとひなまつり」

#### 趣 旨

九州陶磁文化館では、今回で10回目となる「やきものとひなまつり」を開催します。会場には「柴田夫妻コレクション」の寄贈者である柴田祐子氏所蔵の古人形(江戸時代～明治時代)と雛道具、当館所蔵の古陶磁「色絵婦人文雉子」、「色絵赤玉瓔珞文猪口」など、華やかな作品約200点を展示します。

展示期間中は、「ひなまつりぬりえ展」と題し、有田町内の保育園・幼稚園年長児の皆さんが描いた多彩な「ひなまつりぬりえ」を展示します。

また、2月11日の「ひなまつり音楽会」、「ひなまつり茶会」では、ヴァイオリンデュオ演奏会、佐賀ゆかりの賣茶流煎茶会など、ご来館のお客様にもお楽しみいただけるイベントとなっております。もちろん、小さなお子様も大歓迎です。是非、この機会に九州陶磁文化館でやきものとひなまつりをお楽しみください。

<広報用資料より>



展示風景



ぬりえ展風景



ひなまつり煎茶会

期 間 平成 27年 2月 3日 (火) ～4月 5日 (日)  
展示会場 第1展示室前

柴田夫妻コレクション展示室内

共 催 佐賀県立九州陶磁文化館

展示内容 柴田祐子氏所蔵の古人形と雛道具及び九州陶磁文化館所蔵の古陶磁(皿、花瓶など) 約200点

#### 関連催事

・ひなまつりぬりえ展

〈開催日〉2月3日(火)～3月8日(日)

・ひなまつり煎茶会

〈開催日〉2月11日(水・祝)

13:00～15:00

賣茶流 鍋島順仙窟 順仙会一同

・ひなまつり音楽会

〈開催日〉2月11日(水・祝)

13:00～15:35

Music Inn くーぶらんヴァイオリンデュオ with 原田広子氏による生演奏や柴田夫妻の旧蔵レコードなどの鑑賞会

・井上萬二氏講演会

〈開催日〉2月11日(水・祝)

14:15～14:45



ひなまつり音楽会



井上萬二氏講演会

### 3. 陶芸文化講座

#### 趣 旨

九州陶磁文化館では、古陶磁を身近で鑑賞し、やきものに関する知識を深めてもらうため、陶芸文化講座を開催します。

やきもの見方を知りたい、歴史に触れてみたいなど、陶芸文化に関心をお持ちの方を対象とした講座です。

テ ー マ 「九陶の名品をさわる！」

日 時 平成 27 年 2 月 28 日 (土)

①10:00～12:00

②14:00～16:00

会 場 一般研修室

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

講 師 佐賀県立九州陶磁文化館 学芸員  
内 容 古陶磁を手にとってみる際の安全なマナーについて学ぶとともに、九州陶磁文化館が所蔵する古陶磁の名品を実際に手に取って鑑賞していただきます。

また、作品を通して、やきものの歴史的な変遷を解説します。

鑑賞作品 九州陶磁文化館所蔵の古陶磁 10 点  
(唐津焼、有田焼、鍋島焼、三川内焼、高取焼)

対 象 高校生以上

定 員 各回 20 名ずつ

応募方法 往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加を希望する回を記載する。

応募締切 2 月 6 日 (金) (消印有効)

受講料 500 円

参加者 第 1 回 20 名 第 2 回 19 名



講座風景



講座風景

### 4. 印刷物等の刊行

館報「セラミック九州」51号

発行：平成 27 年 3 月 31 日

規格：A4 版 8 ページ

図版：オールカラー写真・図版 25 点

内容：平成 26 度を実施した特別企画展

「白き黄金ー有田・伊万里・武雄・嬉野の磁器の美と技ー」他、テーマ展の報告等。



### 5. 資料鑑識

本館での鑑識依頼 80 組(268 件 290 点)

手紙等での鑑識依頼 40 回あり

## 6. 講演など

	期 日	演 題	主 催・場 所	対 象	講 師
1	H26.5.6	Arita Porcelain and the Chelsea Flower Show 400Years of History	主催：大和日英基金 場所：大和日英基金 (イギリスロンドン市内)	大和日英基金セミナー受講生	館長 鈴田由紀夫
2	H26.5.7	Japanese Ceramics Food for the Eyes	主催：イギリス日本大使館 場所：イギリス日本大使館	Washoku—Food from Japan 参加者	館長 鈴田由紀夫
3	H26.5.24	古唐津を知る —肥前陶器のながれ—	主催：愛知県陶磁美術館 場所：愛知県陶磁美術館	「古唐津・古武雄展」 記念講演会参加者	学芸課主幹 徳永貞紹
4	H26.5.30	佐賀のやきもの	主催：佐賀県自治研修所 場所：佐賀県自治研修所	H26 年度新規採用職員	学芸課長 家田淳一
5	H26.6.6	佐賀のやきもの	主催：佐賀県自治研修所 場所：佐賀県自治研修所	H26 年度新規採用職員	学芸課長 家田淳一
6	H26.6.17	唐津焼と有田焼	主催：唐津市鏡公民館 場所：鏡公民館(古代の森会館)	郷土歴史講座会員	館長 鈴田由紀夫
7	H26.7.13	有田焼 400 年	主催：佐賀県母子寡婦福祉 連合会 場所：伊万里市民センター	H26 年度佐賀県母子寡婦 福祉研修大会参加者	館長 鈴田由紀夫
8	H26.7.22	アウグスト王をはじめとする、 ヨーロッパ王侯貴族に学ぶ古 伊万里の魅力	主催：京王プラザホテル 場所：京王プラザホテル	「ヨーロッパの王侯貴族に学 ぶ古伊万里の魅力～佐賀を味 わう午餐会～」参加者	館長 鈴田由紀夫
9	H26.8.9	輸出された古伊万里 商品と芸術のはざまに	主催：佐賀大学美術館/ 佐賀大学経済学部 場所：佐賀大学美術館	佐賀大学美術館展覧会 「芸術と経済」 ギャラリートーク参加者	学芸課係長 藤原友子
10	H26.8.24	古伊万里様式の美の秘密	主催：大阪市立東洋陶磁美術館 場所：大阪市立東洋陶磁美術館	講演会参加者	館長 鈴田由紀夫
11	H26.9.2	有田観光協会 平成 26 年度 観光ガイド研修講座	主催：有田観光協会 場所：九州陶磁文化館	有田観光協会観光ガイド	学芸課副主査 山本文子
12	H26.10.9	九州陶磁文化館特別企画展 「白き黄金」観光ガイド 研修講座	主催：有田観光協会 場所：九州陶磁文化館	有田観光協会観光ガイド	学芸課副主査 山本文子
13	H26.10.18	佐賀が生んだ「白き黄金」 磁器の美と技	主催：アクロス福岡 (共催：九陶) 場所：アクロス福岡	アクロス文化学び塾受講者	学芸課主幹 徳永貞紹
14	H26.11.17	日本の鉄絵粉青沙器	主催：韓国鶏龍山陶芸村 場所：韓国忠清南道洪城郡 忠清南道庁	鶏龍山李参平学術セミナー 参加者	学芸課長 家田淳一
15	H26.11.18	佐賀の陶磁文化①	主催：佐賀県長寿社会振興財団 場所：鹿島市生涯学習センター 「エイブル」	ゆめ佐賀大学鹿島校 実践課程生	学芸課長 家田淳一
16	H26.12.2	佐賀の陶磁文化②	主催：佐賀県長寿社会振興財団 場所：鹿島市市民交流プラザ 「かたらい」	ゆめ佐賀大学鹿島校 実践課程生	学芸課長 家田淳一
17	H27.1.15	佐賀の陶磁文化①	主催：佐賀県長寿社会振興財団 場所：アバンセ	ゆめ佐賀大学佐賀校 実践課程生	学芸課長 家田淳一
18	H27.1.21	武雄焼ってなんね？	主催：緑青運営委員会 場所：佐賀玉屋	「第一回武雄焼展」 講演会参加者	館長 鈴田由紀夫
19	H27.1.22	佐賀の陶磁文化①	主催：佐賀県長寿社会振興財団 場所：アバンセ	ゆめ佐賀大学佐賀校 実践課程生	学芸課長 家田淳一
20	H27.1.27	九州陶磁の歴史と技術に ついて	場所：九州陶磁文化館	佐賀県立有田工業高校 セラミック科2年生	学芸課長 家田淳一
21	H27.1.29	佐賀の陶磁文化②	主催：佐賀県長寿社会振興財団 場所：アバンセ	ゆめ佐賀大学佐賀校 実践課程生	学芸課長 家田淳一
22	H27.2.28	古伊万里の歴史と特徴	主催：ELEGANCE TEA TABLE 場所：藍田荘	テーブルコーディネート 特別講座受講生	館長 鈴田由紀夫

23	H27.2.28	明治有田の大作主義	主催：(有) しん窯 場所：(有) しん窯	第16期陶芸教室閉講式参加者	藤原友子
24	H27.3.7	唐津焼の歴史・古唐津について	主催：唐津商工会議所 企画業務課 場所：草伝社	唐津検定予備校生	館長 鈴田由紀夫
25	H27.3.8	「有田焼の伝統と未来へと続く創造性」 パネルディスカッション コーディネータ	主催：九州国立博物館展示課 場所：九州国立博物館	「有田焼の伝統と未来へと続く創造性」パネルディスカッション参加者	館長 鈴田由紀夫
26	H27.3.29	「酒と器」トークショー コーディネータ	主催：有田商工会議所 場所：富久千代酒造	鹿島酒蔵ツーリズム 富千代酒造イベント参加者	館長 鈴田由紀夫

## 調査研究活動

### 1. 調査・研修

No.	期 日	目 的	調 査 ・ 研 修 地	調 査 者
1	H26.5.8	資料寄贈希望資料調査	佐賀県伊万里市	家田淳一 藤原友子
2	H26.5.30	館蔵資料科学調査 (X線CTスキャンによる科学調査・銘文の赤外線調査)	九州国立博物館	徳永貞紹 藤原友子
3	H26.7.23	万博の時代展調査 (明治の精磁会社謹製盆器の調査)	宮内庁管理部庭園課	鈴田由紀夫
4	H26.10.20 ～24	第9回指定文化財企画展示セミナー	京都国立博物館	山本文子
5	H27.2.14 ～15	富永コレクション調査および集荷	所蔵者宅	藤原友子 山本文子

### 2. 調査協力・出張など

No.	期 日	内 容	場 所	依 頼	担 当 者
1	H26.4.8	第1回400年有田の魅力展実行委員会	大有田焼会館	400年有田の魅力展実行委員会	杉谷直幹
2	H26.4.10	第31回小石原焼伝統的工芸品展審査	小石原焼伝統産業会館	福岡県朝倉郡東峰村企画振興課	鈴田由紀夫
3	H26.5.19	第10回400年有田の魅力展実行委員会	大有田会館	400年有田の魅力展実行委員会	鈴田由紀夫
4	H26.5.19～ 25	有田焼創業400年推進グループオランダ視察	オランダ(アムステルダム・レーワルデンほか)	佐賀県有田焼400年事業推進グループ	山本文子
5	H26.5.27	九州山口陶磁展事務局会議	有田町役場	九州山口陶磁展実行委員会	藤原友子
6	H26.5.28	平成26年度第1回唐津焼美術館(仮称)構想検討委員会	大手口別館	唐津市教育委員会	鈴田由紀夫
7	H26.5.28～ 29	「博覧会の時代～欧米人を魅了した日本磁器・有田の精華」(仮称)に係る出品依頼・打ち合わせ	東京国立博物館・泉屋博古館分館	西日本新聞社企画事業局地域づくり事業部	鈴田由紀夫
8	H26.6.19	「400年有田の魅力展実行委員会」日本橋三越本店との意見交換会	大有田焼会館	400年有田の魅力展実行委員会	鈴田由紀夫
9	H26.6.30	首都圏・営業本部貸出・展示	佐賀県首都圏営業本部	佐賀県首都圏営業本部	藤原友子
10	H26.6.30～ 7.1	京王プラザホテル「第34回有田・伊万里やきもの夏祭り」展示	京王プラザホテル	佐賀県有田焼400年事業推進グループ	藤原友子
11	H26.7.4	「400年有田の魅力展実行委員会」日本橋三越本店との意見交換会	大有田焼会館	400年有田の魅力展実行委員会	鈴田由紀夫
12	H26.7.25	ミュルマン・ヘンリエッテ研究生 研究テーマ「17・18世紀の鍋島藩磁器専売権の商業的、政治的意義」に関する調査対応	九州陶磁文化館	慶應義塾大学文学部 林温教授	学芸課

13	H26.8.3	京王プラザホテル「第 34 回有田・伊万里やきもの夏祭り」撤収	京王プラザホテル	佐賀県有田焼 400 年事業推進グループ	藤原友子
14	H26.8.4	館蔵資料修復費作品修理経過確認	佐賀県首都圏営業本部		藤原友子
15	H26.8.6	「400 年有田の魅力展実行委員会」岩田屋三越・福岡三越との意見交換会	大有田焼会館	400 年有田の魅力展実行委員会	杉谷直幹
16	H26.8.9	福岡県美術展覧会審査	福岡県立美術館	福岡県美術展覧会実行委員会	鈴木由紀夫
17	H26.8.11	平成 26 年度文化庁地域と協働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業「みんなでまもるミュージアム」全体会議	九州国立博物館	「みんなでまもるミュージアム」事業実行委員会	家田淳一
18	H26.8.11	第 13 回日本磁器誕生・有田焼創業 400 年事業実行委員会	大有田焼会館	日本磁器誕生・有田焼創業 400 年事業実行委員会	杉谷直幹
19	H26.8.18	九州山口陶磁展事務局会議	有田町役場	九州山口陶磁展実行委員会	藤原友子
20	H26.8.26	九州山口陶磁展事務局会議	有田町役場	九州山口陶磁展実行委員会	藤原友子
21	H26.8.28	武雄市文化財保護審議会	武雄市文化会館	武雄市教育委員会	鈴木由紀夫
22	H26.9.2	九州山口陶磁展役員会	有田町庁舎	九州山口陶磁展事務局	鈴木由紀夫
23	H26.9.1～5	有田窯業大学校企業実習	九州陶磁文化館	有田窯業大学校	学芸課
24	H26.9.20～21	テーマ研究「近世・近代の石見焼の研究」第 3 回客員研究員検討会	島根県大田市 大田集合庁舎ほか	島根県教育庁文化財課（古代文化センター）	家田淳一
25	H26.10.10	第 14 回日本磁器誕生・有田焼創業 400 年事業実行委員会	大有田会館	日本磁器誕生・有田焼創業 400 年事業実行委員会	鈴木由紀夫
26	H26.10.31	平成 26 年度第 2 回唐津焼美術館（仮称）構想検討委員会	大手口別館	唐津市教育委員会	鈴木由紀夫
27	H26.11.13	平成 26 年度唐津焼展（仮称）実施協議会	大手口別館	唐津市教育委員会	鈴木由紀夫
28	H26.11.21	「第 17 回日本伝統工芸士会作品展」審査	炎の博記念堂 コンベンションホール	日本伝統工芸士会	鈴木由紀夫
29	H26.12.5	第 15 回日本磁器誕生・有田焼創業 400 年事業実行委員会	大有田会館	日本磁器誕生・有田焼創業 400 年事業実行委員会	鈴木由紀夫
30	H26.12.12	400 年有田の魅力展実行委員会「有田焼 400 年の歴史展」企画小委員会	大有田焼会館	400 年有田の魅力展実行委員会	鈴木由紀夫 家田淳一
31	H26.12.22	九州山口陶磁展事務局会議	有田町役場	九州山口陶磁展実行委員会	杉谷直幹
32	H27.1.7	唐津城跡文化財調査に係る調査指導	古代の森会館	唐津市教育委員会	徳永貞紹
33	H27.1.13～14	平成 26 年度第 7 回陶磁ネットワーク会議	福井県陶芸館ほか		大坪千津美 藤原友子
34	H27.1.14	400 年有田の魅力実行委員会「有田焼 400 年の歴史展」企画小委員会	佐賀県立九州陶磁文化館	400 年有田の魅力展実行委員会	鈴木由紀夫 家田淳一
35	H27.1.21	第 16 回 400 年有田の魅力展実行委員会	大有田会館	400 年有田の魅力展実行委員会	鈴木由紀夫
36	H27.1.27	京王プラザホテル平成 27 年度企画案検討会	有田町役場	佐賀県有田焼 400 年事業推進グループ	藤原友子
37	H27.1.28	長崎県指定文化財候補「献上唐子絵」の現地調査にむけての協議	佐世保市役所	佐世保市教育委員会 社会福祉課	藤原友子
38	H27.1.30	肥前古窯跡盗掘対策合同会議	佐賀県庁	佐賀県文化財課	徳永貞紹
39	H27.2.9	有田町歴史民俗資料館・有田陶磁美術館協議会	有田町生涯学習センター	有田町歴史民俗資料館	鈴木由紀夫
40	H27.2.12	九州山口陶磁展事務局会議	有田町役場	九州山口陶磁展実行委員会	杉谷直幹
41	H27.2.16	オランダレーワルデン市との意見交換会	オランダ大使館	オランダレーワルデン市	藤原友子 山本文子
42	H27.2.20～22	陶芸技術の実態に関する調査	萩焼作家等	文化庁文化財部 伝統文化課	鈴木由紀夫
43	H27.2.24	陶芸技術の実態に関する調査	有田町赤絵町 辻絵の具店	文化庁文化財部 伝統文化課	鈴木由紀夫

44	H27.2.24	第17回400年有田の魅力展実行委員会	大有田会館	400年有田の魅力展実行委員会	杉谷直幹
45	H27.2.25～26	追手筋遺跡出土遺物の指導	高知県立埋蔵文化財センター	公財)高知県文化財団埋蔵文化財センター	徳永貞紹
46	H27.3.1～2	陶芸技術の実態に関する調査	小石原焼作家等	文化庁文化財部伝統文化課	鈴田由紀夫
47	H27.3.2	嬉野市吉田山の陶片鑑賞講師	主催:有田古陶磁研究会 場所:嬉野市吉田山古窯跡	有田古陶磁研究会参加者	家田淳一
48	H27.3.2	九州山口陶磁展事務局会議	有田町役場	九州山口陶磁展実行委員会	杉谷直幹
49	H27.3.20	九州山口陶磁展事務局会議	有田町役場	九州山口陶磁展実行委員会	藤原友子
50	H27.3.25	第16回日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会	大有田焼会館	日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会	杉谷直幹
51	H27.3.25	萩焼・小石原焼・上絵付用絵の具に関する調査報告会	文化庁	文化庁文化財部伝統文化課	鈴田由紀夫
52	H27.3.26	武雄市文化財保護審議会	武雄市文化会館	武雄市教育委員会	鈴田由紀夫

## 資料収集活動

### 1. 陶磁資料の収集

平成26年度は寄贈資料223件249点を収蔵し、総計12,672件23,802点となる。

### 2. 図書資料の収集

報告書	357
目録	15
紀要	140
海外	46
図録	218
年報	111
一般図書	41
その他	43
合計	971



## 佐賀県立九州陶磁文化館資料目録 平成 26 年度 (2014. 4～2015. 3)

凡 例

1. この資料目録は、平成 26 年度 (平成 27 年 3 月 31 日現在) の収蔵資料 223 件 249 点 (寄贈) を掲載した。

寄贈	223 件	249 点
----	-------	-------

平成 26 年度末の館蔵品総数は 12,672 件、23,802 点 である。

2. 「収蔵番号」は、収蔵登録番号と収蔵年度で〈00000-26〉と表示した。

3. 法量の単位はセンチメートルである。

4. 平成 16 年度分類より大区分の一部を変更した。

(1) 「近代資料」(旧：幕末・近代資料) は、以下の 2 項目とする。

130. 佐賀県 近代 (旧：幕末・近代資料 佐賀県)

140. 九州 (県外) 近代 (旧：幕末・近代資料 九州 (県外))

(2) 「九州以外 他」を旧「幕末・近代資料」から分離、新たにつくり時代順とした。

150. 九州以外 近世 (旧 160. 九州以外の陶磁器)

160. 九州以外 近代 (旧 150. 幕末・近代資料 九州以外)

170. 陶磁器関連資料 (文書・図案など)

以上の作業にともない、分類内容を再確認したため、項目により件数の増減がみられるが、総件数は同じである。

5. 平成 26 年度に該当のない分類項目は、目録から省略している。

6. 現代作家作品については、「産地」に「作家名」を入れた。

収蔵番号	資料名	点数	産地	年代	口径	高さ	底径	備考
<b>【011.唐津系陶器】</b>								
12501	-26 灰釉手付水注	1	肥前	1580~1610年代	10.8	20.7	15.0	寄贈 爲近美榮
12502	-26 鉄釉瓶	1	肥前もしくは薩摩か	1580~1610年代	8.5	23.3	15.0	寄贈 爲近美榮
12503	-26 鉄釉壺	1	肥前	1630~1660	8.1	13.0	6.0	寄贈 爲近美榮
12504	-26 灰釉叩き瓶	1	肥前か	16末~17世紀初	6.5	19.7	10.5	寄贈 爲近美榮
12505	-26 刷毛目緑褐釉流掛瓶	1	肥前	17世紀後半頃	6.1	34.7	12.0	寄贈 爲近美榮
12506	-26 灰釉茶碗	1	肥前か	17世紀前半か	14.0	12.6	6.1	寄贈 爲近美榮
12507	-26 褐緑釉流掛刷毛目文皿	1	肥前	17世紀末~18世紀初め頃	21.5	6.4	8.6	寄贈 爲近美榮
12508	-26 鉄絵緑彩松文甕	1	肥前	17世紀末~18世紀前半頃	14.0	14.1	7.7	寄贈 爲近美榮
12509	-26 刷毛目文片口	1	肥前	17末~18世紀初	22.5	11.2	10.5	寄贈 爲近美榮
12510	-26 印花文茶碗	1	肥前	18世紀	12.8	7.8	5.3	寄贈 爲近美榮
12511	-26 印花葛文碗	1	肥前	18世紀後半	11.8	6.5	4.6	寄贈 爲近美榮
12512	-26 白釉流掛瓶	1	肥前・嬉野(内野山)	18世紀後半	3.5	20.5	7.0	寄贈 爲近美榮
12513	-26 鉄絵緑彩松文大鉢	1	肥前	18世紀後半	54.6	19.0	15.0	寄贈 爲近美榮
12514	-26 鉄絵緑彩松文大鉢	1	肥前	18世紀後半~19世紀初頭	33.0	21.2	13.0	寄贈 爲近美榮
12515	-26 鉄釉流片口	1	肥前	18世紀前半	24.2	13.3	10.5	寄贈 爲近美榮
12516	-26 象嵌唐草文皿	1	肥前	18世紀前半頃	23.0	5.8	9.8	寄贈 爲近美榮
12517	-26 象嵌雲鶴文植木鉢(外套)	1	肥前か	19世紀	26.8	17.0	15.5	寄贈 爲近美榮
<b>【035.古伊万里・元禄様式】</b>								
12518	-26 青磁貼花文三足付香炉	1	肥前	18世紀前半	16.5	8.8	7.4 足間 8.5	寄贈 爲近美榮
<b>【036.古伊万里・宝暦様式】</b>								
12519	-26 色絵菖蒲七宝文皿	3	肥前	18世紀後半	16.4	3.1	8.2	寄贈 爲近美榮
12520	-26 色絵花文小皿	4	肥前系	18世紀後半か	14.0	2.5	7.0	寄贈 爲近美榮
12521	-26 色絵花波網文十二角皿	5	肥前・有田窯	18世紀中頃~末	15.0	3.5	6.7	寄贈 爲近美榮
<b>【037.古伊万里・天明様式】</b>								
12522	-26 染付仙祝文皿	1	肥前・有田窯	1770~1790年代	17.0	2.5	9.4	寄贈 爲近美榮
12523	-26 色絵菊花文小皿	1	肥前系	18世紀末~19世紀	8.8	2.0	5.2	寄贈 爲近美榮
12524	-26 染付蛸唐草文小瓶	1	肥前	18世紀末~19世紀前半	1.5	11.2	3.6	寄贈 爲近美榮
12525	-26 染付蛸唐草文小瓶	1	肥前	18世紀末~19世紀前半	1.5	16.7	4.2	寄贈 爲近美榮
<b>【038.古伊万里・文政様式】</b>								
12526	-26 染付松鶴文火鉢	1	肥前・有田窯	1820~1860年代	13.0/ (胴径) 21.8	17.6	22.5	寄贈 爲近美榮
<b>【070.福岡の陶磁器】</b>								
12527	-26 瓦質菊花文足付鉢	1	不詳(北部九州か)	18世紀~19世紀	27.2× 20.0	10.8	26.6× 19.2	寄贈 爲近美榮
12528	-26 刷毛目褐釉トビカンナ瓶	1	福岡小石原か大分小鹿田か	19世紀か	4.5	26.6	7.0	寄贈 爲近美榮
12529	-26 黄灰釉四耳壺	1	福岡か	17世紀	10.3	28.7	13.5	寄贈 爲近美榮
12530	-26 灰釉壺	1	福岡か	17世紀初頭	10.8	16.0	13.5	寄贈 爲近美榮

12531	-26	鉄釉壺	1	福岡か	17世紀前半	9.5	14.0	10.3	寄贈	爲近美榮
12532	-26	黄灰釉流三耳壺	1	福岡	18～19世紀	13.0	31.8	18.6	寄贈	爲近美榮
12533	-26	藁灰釉流掛鉢	1	福岡か	18世紀～19世紀	29.0	17.3	13.8	寄贈	爲近美榮
12534	-26	緑釉流掛瓶	1	福岡	19世紀	5.5	12.5	6.0	寄贈	爲近美榮
12535	-26	白釉褐釉流掛皿	1	福岡か	19世紀	23.0	6.7	9.2	寄贈	爲近美榮
12536	-26	鉄釉黄灰釉流掛壺	1	福岡	19世紀	7.8	11.4	8.2	寄贈	爲近美榮
12537	-26	鉄釉注口付壺	1	福岡か	19世紀	13.5	37.4	15.0	寄贈	爲近美榮
12538	-26	白釉褐釉掛分輪花皿	1	福岡	19世紀頃	18.4	3.3	8.8	寄贈	爲近美榮
12539	-26	象嵌花十字文茶碗	1	福岡もしくは熊本か	18～19世紀	13.2	12.2	5.5	寄贈	爲近美榮
12540	-26	緑釉褐釉流掛釜	1	福岡 上野	19世紀	10.0 最大幅 20.5	総高 20.8 17.2	11.5	寄贈	爲近美榮
12541	-26	緑釉流掛風炉	1	福岡 上野	19世紀	32.0	21.1	20.0	寄贈	爲近美榮
12542	-26	鉄釉編笠形碗	1	筑前・高取窯か	19世紀	13.4	4.8	5.8(足間)	寄贈	爲近美榮
12543	-26	褐釉黄灰釉流掛砂金袋形壺	1	福岡・高取焼	19世紀	16.0	15.0	10.7	寄贈	爲近美榮
【090.大分の陶磁器】										
12544	-26	刷毛目皿	1	豊後・小鹿田	19世紀	20.0	4.3	9.8	寄贈	爲近美榮
【110.鹿児島島の陶磁器】										
12545	-26	焼締四耳壺	1	薩摩か	18～19世紀	12.4	27.0	13.0	寄贈	爲近美榮
12546	-26	鉄釉壺	1	薩摩	18～19世紀	11.0	17.6	9.0	寄贈	爲近美榮
12547	-26	褐釉流掛碗	1	薩摩か	18後半から19世紀	11.4	7.2	4.6	寄贈	爲近美榮
12548	-26	鮫肌釉小壺	1	薩摩・龍門司窯	19世紀	4.4	6.8	5.0	寄贈	爲近美榮
12549	-26	緑釉褐釉流掛瓶	1	薩摩・龍門司窯	19世紀	3.1	16.6	5.2	寄贈	爲近美榮
【120.沖縄の陶磁器】										
12550	-26	鉄釉指描文瓶(嘉瓶)	1	沖縄	19世紀か	5.7	28.8	9.0	寄贈	爲近美榮
12551	-26	焼締獅子置物	1	沖縄	19世紀か	32.7	29.5 × 19.0	29.2× 17.8	寄贈	爲近美榮
【130.佐賀県 近代】										
12552	-26	青磁盃台	1	肥前・大川内山	19世紀後半	3.0/ (径) 8.7	6.5	4.7	寄贈	爲近美榮
12553	-26	青磁鉢	1	肥前・大川内山	明治・大正(19世紀後半～20世紀初頭)	20.7	7.5	11.5	寄贈	爲近美榮
12554	-26	染付雲龍文壺	1	肥前 白石窯	明治～大正、近代	7.1	16.1	7.3	寄贈	爲近美榮
12555	-26	色絵藤燕文大鉢	1	肥前	19世紀後半頃	32.8	8.8	12.5	寄贈	爲近美榮
12556	-26	染付竹林唐子文鉢	1	肥前	明治	22.2	9.3	8.4	寄贈	爲近美榮
12557	-26	染付文字入り碗	1	有田	昭和17年頃	14.7	6.7	6.7	寄贈	爲近美榮
12558	-26	色絵馬文鉢	1	有田	明治・大正(19世紀後半～20世紀初頭)	18.7	8.2	8.6	寄贈	爲近美榮
12461	-26	茶碗	1	肥前	不詳 近現代か	13.0	8.1	5.3	寄贈	関 正康
12462	-26	小服茶碗	1	肥前	不詳 近現代か	10.4	6.5	4.0	寄贈	関 正康
【140.九州(福岡) 近代】										
12559	-26	鉄釉灰釉流掛皿	1	福岡 高取	19後半から20世紀初	17.5× 19.0	4.5	8.3	寄贈	爲近美榮

【150.九州以外 近世】

12560	-26	灰釉流耳付花生	1	伊賀もしくは信楽	17世紀頃	12.5	26.4	13.0	寄贈	爲近美榮
12561	-26	貼花亀甕	1	岡山 備前	19世紀	20.5	23.6	13.4	寄贈	爲近美榮
12562	-26	象嵌菊花文台付皿	1	関西系	18～19世紀か	15.8	5.9	10.5	寄贈	爲近美榮
12563	-26	色絵菊花形皿	1	関西系	18世紀	17.5	3.3	10.0	寄贈	爲近美榮
12564	-26	鉄絵緑彩松文瓶	1	関西系	18世紀～19世紀	2.5	10.3	4.8	寄贈	爲近美榮
12565	-26	灰釉小皿	1	関西系	19世紀	8.4	3.5	3.2	寄贈	爲近美榮
12566	-26	色絵仙境図印判手小皿	5	関西系	19世紀	10.4	2.6	6.5	寄贈	爲近美榮
12567	-26	色絵花鳥文小皿	2	関西系	19世紀	13.8	2.8	6.6	寄贈	爲近美榮
12568	-26	緑釉印刻唐子文茶碗	1	関西系	19世紀	12.7	7.5	4.8	寄贈	爲近美榮
12569	-26	刷毛目団龍文湯匙形鉢	1	関西系	19世紀	22.4 × 12.4	8.3	10.8 × 9.5	寄贈	爲近美榮
12570	-26	緑釉瓶	1	関西系	19世紀	3.4	21.6	8.3	寄贈	爲近美榮
12571	-26	色絵花文皿	1	関西系	19世紀	25.0	5.0	9.2	寄贈	爲近美榮
12572	-26	色絵仙境図印判手皿	1	関西系 三田か	19世紀	25.2	4.7	11.2	寄贈	爲近美榮
12573	-26	色絵印判手鉢	1	関西系	19世紀	21.0	7.0	14.0	寄贈	爲近美榮
12574	-26	色絵麒麟仙人文鉢	1	関西系	19世紀	23.6	7.6	11.8	寄贈	爲近美榮
12575	-26	染付芙蓉手大皿	1	関西系 三田か	19世紀	33.4	6.4	16.2	寄贈	爲近美榮
12576	-26	陽刻梅文土器	1	京都系	19世紀か	12.3	1.6	-	寄贈	爲近美榮
12577	-26	鉄釉打掛碗	1	瀬戸・美濃系	18世紀～19世紀	12.2	8.0	6.7	寄贈	爲近美榮
12578	-26	緑釉白釉流六角花生	1	瀬戸・美濃系	18世紀～19世紀	21.5 × 19.0	20.4	15.8 × 14.5	寄贈	爲近美榮
12579	-26	色絵花鳥文皿	1	瀬戸・美濃系	19世紀	18.6	2.0	10.0	寄贈	爲近美榮
12580	-26	色絵龍唐草文大皿	1	瀬戸・美濃系 犬山 か	19世紀	32.5	8.5	16.3	寄贈	爲近美榮
12581	-26	褐釉小壺	1	瀬戸か	19世紀か	4.6	4.5	4.2	寄贈	爲近美榮
12582	-26	緑釉印花文輪花皿	1	瀬戸・美濃	17～18世紀	20.0	5.3	8.5	寄贈	爲近美榮
12583	-26	鉄絵渦文皿(瀬戸馬目皿)	1	瀬戸・美濃	19世紀	21.8	4.9	11.5	寄贈	爲近美榮
12584	-26	呉須絵菊唐草文大皿	1	瀬戸	19世紀	31.2	7.7	16.7	寄贈	爲近美榮
12585	-26	灰釉碗	1	山口・萩	18～19世紀	12.4	9.1	4.8	寄贈	爲近美榮
12586	-26	褐釉四耳壺	1	丹波	17世紀	9.9	27.4	12.0	寄贈	爲近美榮
12587	-26	灰釉碗	1	中国地方	18世紀～19世紀 後半	9.8	7.2	4.5	寄贈	爲近美榮
12588	-26	色絵菊花文大皿	1	中国地方 須佐か	19世紀	24.6	7.6	15.1	寄贈	爲近美榮
12589	-26	緑釉壺	1	中国地方か	19世紀	13.0	29.5	12.3	寄贈	爲近美榮
12590	-26	緑釉櫛搔文皿	1	東北か	19世紀	24.8	4.9	14.2	寄贈	爲近美榮
12591	-26	釉下彩型紙摺碗	1	伊予・砥部か	昭和15年以降	11.2	6.7	4.4	寄贈	爲近美榮
12592	-26	色絵山水文瓶	1	京都か	19世紀後半	2.5	15.6	5.0	寄贈	爲近美榮
12593	-26	染付桜花鳥文小皿	1	滋賀 彦根・湖東焼	明治～大正	12.8	2.6	7.2	寄贈	爲近美榮
12594	-26	色絵菊文六角瓶	1	九谷	19世紀後半	3.2	17.6	6.0	寄贈	爲近美榮
12595	-26	色絵芙蓉唐子扇文皿	1	九谷	大正～昭和初期 (20世紀前半)	16.2	3.8	10.4	寄贈	爲近美榮
12596	-26	色絵唐人文鉢	1	九谷	明治・大正(19 世紀後半～20世 紀初頭)	23.4	9.4	10.6	寄贈	爲近美榮
12597	-26	染付菊文大瓶	1	兵庫・出石	明治	15.5	35.8	12.4	寄贈	爲近美榮
12598	-26	染付鉄絵松毬文小皿	1	中国地方	明治～大正	10.3	2.6	4.8	寄贈	爲近美榮

【170.陶磁器関連資料】

12620	-26	花唐草文急須図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.8×横 45.8cm	寄贈	三上かね子
12621	-26	「菜果紋」壺図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.9×横 45.9cm	寄贈	三上かね子
12622	-26	「古代人物紋」瓶図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 46.0×横 30.1cm	寄贈	三上かね子
12623	-26	「色絵竹紋」壺図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 45.8×横 30.0cm	寄贈	三上かね子
12624	-26	「色絵宝紋」蓋付鉢図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.2×横 45.0cm	寄贈	三上かね子
12625	-26	「陶片器意」皿図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 29.9×横 44.8cm	寄贈	三上かね子
12626	-26	植物文蓋付鉢図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.4×横 45.2cm	寄贈	三上かね子
12627	-26	「海月紋」鉢図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.4×横 45.3cm	寄贈	三上かね子
12628	-26	「色絵瓢紋」瓶図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.8×横 44.8cm	寄贈	三上かね子
12629	-26	人物文広口瓶図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 44.7×横 33.3cm	寄贈	三上かね子
12630	-26	「雪地水紋」壺図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 45.1×横 29.6cm	寄贈	三上かね子
12631	-26	花卉文壺図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 45.8×横 33.4cm	寄贈	三上かね子
12632	-26	海老文蓋付壺図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.3×横 45.5cm	寄贈	三上かね子
12633	-26	「尊形三彩紋」壺図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 45.0×横 33.1cm	寄贈	三上かね子
12634	-26	人骨文皿図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.6×横 45.0cm	寄贈	三上かね子
12635	-26	「雪景山水」皿図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.3×横 45.5cm	寄贈	三上かね子
12636	-26	「陶片器意」皿図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 31.2×横 47.6cm	寄贈	三上かね子
12637	-26	「遼仏彩紋」細首瓶図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.6×横 45.5cm	寄贈	三上かね子
12638	-26	蛙文壺図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.8×横 45.8cm	寄贈	三上かね子
12639	-26	鳥文陶板図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.6×横 45.8cm	寄贈	三上かね子
12640	-26	「蟹紋皿」図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.8×横 45.7cm	寄贈	三上かね子
12641	-26	草花文蓋付壺図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 33.7×横 45.4cm	寄贈	三上かね子
12642	-26	「色絵菜根紋」瓶図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 44.8×横 29.9cm	寄贈	三上かね子
12643	-26	梅樹文瓢形瓶図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 45.6×横 30.0cm	寄贈	三上かね子
12644	-26	「古紋」碗図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 30.4×横 30.1cm	寄贈	三上かね子
12645	-26	「色絵人物紋」瓶図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 29.8×横 31.1cm	寄贈	三上かね子
12646	-26	「色絵人物紋」広口瓶図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 30.0×横 29.9cm	寄贈	三上かね子
12647	-26	「古染付意」碗図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 30.0×横 30.4cm	寄贈	三上かね子
12648	-26	「南京意色絵」酒器図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 34.8×横 33.9cm	寄贈	三上かね子
12649	-26	「捻紋」角皿図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 32.4×横 32.3cm	寄贈	三上かね子
12650	-26	「色絵花紋」皿図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 29.9×横 30.2cm	寄贈	三上かね子
12651	-26	人物文広口瓶図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 31.8×横 32.3cm	寄贈	三上かね子
12652	-26	「色絵蟹紋」鉢図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 31.4×横 31.6cm	寄贈	三上かね子
12653	-26	「古染酒友」図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 31.8×横 32.6cm	寄贈	三上かね子
12654	-26	梅蝶文筒茶碗	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 30.4×横 29.8cm	寄贈	三上かね子
12655	-26	「色絵花紋」壺図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 35.0×横 33.9cm	寄贈	三上かね子
12656	-26	「青華梅紋」筒茶碗図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 31.9×横 31.9cm	寄贈	三上かね子
12657	-26	花文細首壺図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 34.0×横 33.7cm	寄贈	三上かね子
12658	-26	色絵尊形瓶図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 34.3×横 33.9cm	寄贈	三上かね子
12659	-26	草文水注図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 34.0×横 33.8cm	寄贈	三上かね子
12660	-26	「金襴手酒友」図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 34.8×横 34.2cm	寄贈	三上かね子
12661	-26	茄子文徳利・盃図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 30.2×横 30.6cm	寄贈	三上かね子
12662	-26	松樹文筒茶碗図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 30.5×横 29.8cm	寄贈	三上かね子
12663	-26	草花文蓋付碗図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 30.2×横 30.6cm	寄贈	三上かね子
12664	-26	梅樹文鉢図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 31.6×横 32.6cm	寄贈	三上かね子
12665	-26	「酒装」図	1	澤田痴陶人(1902~77)	縦 32.1×横 32.4cm	寄贈	三上かね子

12666	-26	「酒装」 図	1	澤田痴陶人(1902~77)		縦 32.2×横 32.2cm	寄贈	三上かね子
12667	-26	「青華金彩」酒注図	1	澤田痴陶人(1902~77)		縦 31.9×横 32.2cm	寄贈	三上かね子
12668	-26	「盒子三友」 図	1	澤田痴陶人(1902~77)		縦 31.8×横 32.1cm	寄贈	三上かね子
12669	-26	「青華金彩」急須図	1	澤田痴陶人(1902~77)		縦 31.6×横 32.0cm	寄贈	三上かね子
12670	-26	「野晒し紋」 壺図	1	澤田痴陶人(1902~77)		縦 29.8×横 30.5cm	寄贈	三上かね子
12671	-26	花文蓋付鉢図	1	澤田痴陶人(1902~77)		縦 31.8×横 48.0cm	寄贈	三上かね子
12672	-26	松樹文細口瓶図	1	澤田痴陶人(1902~77)		縦 33.8×横 45.8cm	寄贈	三上かね子

【180.中国の陶磁器】

12458	-26	青磁鉢	1	中国	明 14 世紀	13.1 7.3 6.0	寄贈	高嶋俊光
12599	-26	褐釉四耳付壺	1	中国	13~15 世紀	9.0 15.5 10.5	寄贈	爲近美榮
12600	-26	灰釉四耳付壺	1	中国南部	14~16 世紀	11.7 31.7 12.4	寄贈	爲近美榮
12601	-26	鉄釉瓶	1	中国	18 世紀~19 世紀か	4.3 9.3 7.3	寄贈	爲近美榮
12602	-26	黒釉三耳注口付瓶	1	中国	元~明か	6.5 11.6 6.3	寄贈	爲近美榮
12603	-26	鉄絵緑彩魚文皿	1	中国か	明か	28.0 8.4 11.3	寄贈	爲近美榮
12604	-26	染付草文碗	1	中国・景德鎮窯	1610~1640 年代	13.8 4.4 5.5	寄贈	爲近美榮
12605	-26	染付貼花魚文小皿	1	中国・景德鎮窯	16 世紀	12.0 3.2 3.8	寄贈	爲近美榮
12606	-26	染付龍文碗	1	中国・景德鎮窯	16 世紀末	13.5 5.7 5.3	寄贈	爲近美榮
12607	-26	染付仙芝祝寿文盃	1	中国 福建	18 後半から 19 世紀前半	6.7 4.8 4.2	寄贈	爲近美榮
12608	-26	緑釉花文壺	1	中国南部(福建・広東)	17 世紀~18 世紀	15.3 17.8 16.6	寄贈	爲近美榮
12609	-26	灰釉壺	1	中国(福建・広東)	18~19 世紀	12.6 42.0 16.5	寄贈	爲近美榮
12610	-26	染付花鳥文皿	1	中国・漳州窯	17 世紀前半	15.2 3.0 6.5	寄贈	爲近美榮
12611	-26	色絵花鳥文皿	1	中国・漳州窯	17 世紀前半	26.0 3.5 14.0	寄贈	爲近美榮
12612	-26	染付芙蓉手花鳥文大皿	1	中国・漳州窯	17 世紀前半	38.4 8.7 17.0	寄贈	爲近美榮
12613	-26	色絵仙境図印判手文大皿	1	中国・漳州窯	17 世紀前半	36.4 7.9 17.0	寄贈	爲近美榮
12614	-26	染付唐草文碗	1	中国 福建(漳州窯系)	16 末~17 世紀初	10.6 5.5 4.2	寄贈	爲近美榮

【190.朝鮮の陶磁器】

12615	-26	刷毛目印花文碗	1	朝鮮か	近世か	14.5 7.1 5.0	寄贈	爲近美榮
12616	-26	青磁印刻文瓶	1	朝鮮	高麗時代か	9.0 26.7 9.5	寄贈	爲近美榮

【200.アジアの陶磁器】

12617	-26	焼締印刻文壺	1	タイ・シーサッチャナライ	14~15 世紀	8.4 16.5 8.4	寄贈	爲近美榮
12457	-26	白磁碗	1	ベトナム	14 世紀	16.3 6.5 6.3	寄贈	高嶋俊光
12618	-26	緑釉高足盃	1	ベトナムか	14~15 世紀	7.8 8.4 5.2	寄贈	爲近美榮
12619	-26	緑釉白釉掛分耳付瓶	1	ミャンマーもしくはタイか	15~16 世紀か	6.5 22.6 11.9	寄贈	爲近美榮

【210.ヨーロッパの陶磁器】

12450	-26	色絵梅鶉文カップ・ソーサー	2	イギリス ウースター	1930 年	(カップ) 7.5 最大径 9.0 (ソーサー) 11.8	(カップ) 5.2 (ソーサー) 1.5	(カップ) 4.0 (ソーサー) 6.4	寄贈	佐藤桂子
12463	-26	金覆輪平磁碗	1	デンマーク	不詳	16.7	6.7	4.8	寄贈	関 正康

【230.現代作家 佐賀県 1】

12464	-26	三島手 檜垣平茶碗	1	12 代中里太郎右衛門 佐賀県 (1895~1985)	1951 年	14.0	4.9	4.8	寄贈	関 正康
-------	-----	-----------	---	-----------------------------	--------	------	-----	-----	----	------

12452	-26	白磁花形ぐい呑み 白磁青釉線刻文ぐい呑み 白磁釉滴ぐい呑み	3	井上萬二 井上康成 井上祐希 佐賀県	平成 26 年 (2014)	花形 7.2 青釉 6.3 釉滴 6.9	花形 7.0 青釉 6.5 釉滴 5.0	花形 3.2 青釉 3.0 釉滴 3.2	寄贈	柴田祐子
12453	-26	染付菊花文水指	1	翠泉窯 宮崎郁夫 佐賀県	昭和 50~60 年 代	15.5 蓋径 15.8	総高 23.3 身高 20.2	11.6	寄贈	宮崎善子
12454	-26	染付網目文瓢形大瓶	1	翠泉窯 宮崎郁夫 佐賀県	昭和 40~平成 9 年	6.5	44.0	15.8	寄贈	宮崎善子
12455	-26	染付網目文碗	1 0	萬里窯 宮崎郁夫 佐賀県	昭和 24~昭和 40 年代	7.2	7.8	4.1	寄贈	宮崎善子
12451	-26	Shell	1	辻 浩喜 佐賀県 (1973~)	2014 年 (平成 26)	45.5	22.2	11.5	寄贈	辻 浩喜
【240.現代作家 佐賀県 II】										
12456	-26	釉裏紅靈獣文大鉢	1	初代松本佩山 佐 賀県 (1895~1961)	昭 和 14 年 (1939)	63.6	8.5	37.3	寄贈	松本 平
【250.現代作家 長崎県】										
12465	-26	黒絵牡丹茶碗	1	12 代横石臥牛 長 崎県 (1894~1961)	1950 年代頃	13.5	7.5	5.0	寄贈	関 正康
12466	-26	現川写刷毛目茶碗	1	12 代横石臥牛 長 崎県 (1894~1961)	1957 年作	13.9	7.8	5.2	寄贈	関 正康
【260.現代作家 福岡県】										
12473	-26	灰釉玉子手茶碗	1	10 代十時甫元 福 岡県	1957 年	13.2	8.2	5.5	寄贈	関 正康
12474	-26	朝顔茶碗	1	11 代高鶴城山 福 岡県	不詳	13.6	7.7	4.8	寄贈	関 正康
12475	-26	平茶碗 銘残照	1	11 代高鶴城山 福 岡県	1951 年作	14.4	5.7	5.1	寄贈	関 正康
12476	-26	窯変茶碗	1	12 代高鶴夏山 福 岡県	不詳	12.0	8.2	5.2	寄贈	関 正康
12467	-26	天目釉茶碗	1	13 代亀井味楽 福 岡県 (1883~1956)	1951 年以前	11.2	7.1	5.2	寄贈	関 正康
12468	-26	黄釉片口茶碗 銘布袋	1	13 代亀井味楽 福 岡県 (1883~1956)	1952 年 10 月作	10.9	8.3	5.4	寄贈	関 正康
12469	-26	天目釉窯変筒茶碗 銘志 ほの木	1	13 代亀井味楽 福 岡県 (1883~1956)	1952 年 10 月作	10.9	7.8	5.3	寄贈	関 正康
12470	-26	遠州切型掛分茶碗	1	13 代亀井味楽 福 岡県 (1883~1956)	1955 年 8 月 5 日窯出し	11.2	7.7	5.5	寄贈	関 正康
12459	-26	錫白瑠璃金銀彩方器	1	井上俊一 福岡県 (1947~)	平成 19 年 (2007) 作	幅 21.0 ×21.0	42.5		寄贈	井上俊一
12460	-26	黒地金銀彩延石文扁壺	1	井上俊一 福岡県 (1947~)	平成 22 年 (2010) 作	幅 43.0 ×25.3	45.5		寄贈	井上俊一
12471	-26	黄釉茶碗	1	亀井又生庵 14 代 亀井味楽 福岡県 (1931~2014)	1957 年作	12.1	6.0	4.7	寄贈	関 正康
12472	-26	黄釉茶碗 (古高取模)	1	亀井又生庵 14 代 亀井味楽 福岡県 (1931~2014)	1957 年 8 月作	11.4	7.1	5.9	寄贈	関 正康
12477	-26	平茶碗 (鉄釉小壺付)	1	福岡県 小石原	17 世紀か	15.2 小壺 2.4	7.3 小壺 3.7	5.8 小壺 2.7	寄贈	関 正康

【270.現代作家 熊本県】

12481	-26	雲鶴胴茶碗	1	9代上野勝三 扇 古 熊本県 (1888 頃~1968)	1951年頃	12.2	8.1	5.4	寄贈	関	正康
12482	-26	三島曆手茶碗	1	9代上野勝三 扇 古 熊本県 (1888 頃~1968)	1952年	14.0	6.4	4.6	寄贈	関	正康
12478	-26	辰砂茶碗	1	山下唯彦 熊本県 (1898~1972)	1951年頃	13.3	7.4	4.8	寄贈	関	正康
12479	-26	刷毛目茶碗	1	山下唯彦 熊本県 (1898~1972)	1951年頃	13.8	7.4	5.9	寄贈	関	正康
12480	-26	生掛茶碗	1	山下唯彦 熊本県 (1898~1972)	1951年頃	13.4	7.7	5.2	寄贈	関	正康
12483	-26	茶碗	1	城島平次郎 熊本 県 (1882~1968)	1950年代頃	11.9	7.9	5.3	寄贈	関	正康

【280.現代作家 大分県】

12484	-26	紅屋茶碗	1	白山作 大分県 小鹿田	1950年代頃	12.5	7.4	5.5	寄贈	関	正康
-------	-----	------	---	----------------	---------	------	-----	-----	----	---	----

【300.現代作家 鹿児島県】

12485	-26	黒釉平茶碗	1	3代有山長太郎か 鹿児島県 (1908~ 1999)	1950年代	15.8	6.8	6.5	寄贈	関	正康
-------	-----	-------	---	----------------------------------	--------	------	-----	-----	----	---	----

【320.現代作家 九州以外】

12486	-26	筒梅花皮茶碗	1	10代坂高麗左衛門 山口県 (1890~ 1958)	1952年頃	11.4	9.4	6.4	寄贈	関	正康
12493	-26	織部茶碗	1	26代(4代)加藤 作助 愛知県 (1909~)	1956年	13.1	7.2	4.8	寄贈	関	正康
12494	-26	瀬戸黒半筒茶碗	1	加藤善山 愛知県 (1895~1966)	1952年	11.4	8.3	5.4	寄贈	関	正康
12490	-26	茶碗	1	菊山當年男 三重 県 (1884~1960)	1957年頃	11.4	7.9	5.4	寄贈	関	正康
12489	-26	茶碗	1	金重陶陽 岡山県 (1896~1967)	1956年	13.7	8.7	5.8	寄贈	関	正康
12495	-26	象嵌雲鶴茶碗	1	三代三浦常山 新 潟県(1869~1929)	1952年頃	11.5	8.9	5.4	寄贈	関	正康
12497	-26	蝦夷鶉手茶碗	1	小森忍 北海道 (1889~1962)	1955年	12.8	6.8	約4.2	寄贈	関	正康
12498	-26	蝦夷油滴茶碗 銘荒えび す	1	小森忍 北海道 (1889~1962)	1957年	12.8	7.8	6.2	寄贈	関	正康
12499	-26	梅花盞	1	小森忍 北海道 (1889~1962)	1958年	13.0	6.5	4.7	寄贈	関	正康
12500	-26	黒釉刻花文碗	1	小森忍 北海道 (1889~1962)	不詳	11.7	10.9	6.0	寄贈	関	正康
12491	-26	茶碗 銘こぼれ雪	1	上田直方 滋賀県 (1898~1975)	1951年	11.7	8.6	5.5	寄贈	関	正康
12496	-26	茶碗 銘深秋	1	丹羽龍之介 山形 県 (1895~1972)	1955年頃	13.0	7.0	5.5	寄贈	関	正康
12488	-26	出雲ぼてぼて茶碗	1	島根県	不詳	10.4	9.1	4.8	寄贈	関	正康
12487	-26	茶碗	1	日野瑞雲 島根県 (不明~1979)	1952年頃	11.0	8.0	5.5	寄贈	関	正康
12492	-26	油滴天目釉茶碗	1	福田力三郎 京都 府 (1908~1984)	1951年	13.8	7.4	5.3	寄贈	関	正康



資料件数一覧

		S53～H25						H26						合計					
		件数			点数			件数			点数			件数			点数		
		購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計
近世の肥前陶磁	011. 唐津系陶器	49	228	277	61	257	318	0	17	17	0	17	17	49	245	294	61	274	335
	021. 初期伊万里様式	36	213	249	61	330	391	0	0	0	0	0	0	36	213	249	61	330	391
	030. 古伊万里様式	281	4977	5258	503	12334	12837	0	9	9	0	0	0	281	4986	5267	503	12352	12855
	031. 古伊万里・正保様式	53	167	220	105	268	373	0	0	0	0	0	0	53	167	220	105	268	373
	032. 古伊万里・承応様式	8	283	291	20	462	482	0	0	0	0	0	0	8	283	291	20	462	482
	033. 古伊万里・寛文様式	62	937	999	116	1754	1870	0	0	0	0	0	0	62	937	999	116	1754	1870
	034. 古伊万里・延宝様式	37	834	871	58	1895	1953	0	0	0	0	0	0	37	834	871	58	1895	1953
	035. 古伊万里・元禄様式	86	1333	1419	132	3349	3481	0	1	1	0	1	1	86	1334	1420	132	3350	3482
	036. 古伊万里・宝暦様式	7	432	439	21	1653	1674	0	3	3	0	12	12	7	435	442	21	1665	1686
	037. 古伊万里・天明様式	5	544	549	21	1637	1658	0	4	4	0	4	4	5	548	553	21	1641	1662
	038. 古伊万里・文政様式	23	447	470	30	1316	1346	0	1	1	0	1	1	23	448	471	30	1317	1347
	041. 柿右衛門様式	29	88	117	33	200	233	0	0	0	0	0	0	29	88	117	33	200	233
051. 鍋島藩窯様式	55	136	191	67	404	471	0	0	0	0	0	0	55	136	191	67	404	471	
	小計	450	5642	6092	725	13525	14250	0	26	26	0	35	35	450	5668	6118	725	13560	14285
近世の九州陶磁(県外)	060. 長崎の陶磁器	51	95	146	121	224	345	0	0	0	0	0	0	51	95	146	121	224	345
	070. 福岡の陶磁器	39	167	206	43	182	225	0	17	17	0	17	17	39	184	223	43	199	242
	080. 熊本の陶磁器	31	38	69	61	47	108	0	0	0	0	0	0	31	38	69	61	47	108
	090. 大分の陶磁器	3	1	4	3	1	4	0	1	1	0	1	1	3	2	5	3	2	5
	100. 宮崎の陶磁器	2	1	3	2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	1	3	2	1	3
	110. 鹿児島島の陶磁器	62	69	131	63	84	147	0	5	5	0	5	5	62	74	136	63	89	152
120. 沖縄の陶磁器	77	16	93	77	16	93	0	2	2	0	2	2	77	18	95	77	18	95	
	小計	265	387	652	370	555	925	0	25	25	0	25	25	265	412	677	370	580	950
近代資料	130. 佐賀県 近代	36	793	829	58	1730	1788	0	9	9	0	9	9	36	802	838	58	1739	1797
	140. 九州(県外) 近代	8	82	90	9	231	240	0	1	1	0	1	1	8	83	91	9	232	241
	小計	44	875	919	67	1961	2028	0	10	10	0	10	10	44	885	929	67	1971	2038
九州以外	150. 九州以外 近世	10	314	324	19	437	456	0	39	39	0	44	44	10	353	363	19	481	500
	160. 九州以外 近代	4	145	149	4	250	254	0	0	0	0	0	0	4	145	149	4	250	254
	170. 陶磁器関連資料(文書・図案など)	8	1907	1915	15	2549	2564	0	53	53	0	53	53	8	1960	1968	15	2602	2617
	小計	22	2366	2388	38	3236	3274	0	92	92	0	97	97	22	2458	2480	38	3333	3371
世界の陶磁器	180. 中国の陶磁器	29	300	329	38	421	459	0	17	17	0	17	17	29	317	346	38	438	476
	190. 朝鮮の陶磁器	0	108	108	0	110	110	0	2	2	0	2	2	0	110	110	0	112	112
	200. アジアの陶磁器	0	33	33	0	33	33	0	4	4	0	4	4	0	37	37	0	37	37
	210. ヨーロッパの陶磁器	39	30	69	40	66	106	0	2	2	0	3	3	39	32	71	40	69	109
	220. その他の世界の陶磁器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	68	471	539	78	630	708	0	25	25	0	26	26	68	496	564	78	656	734
現代作家作品	230. 佐賀県 I	48	1636	1684	48	2095	2143	0	6	6	0	17	17	48	1642	1690	48	2112	2160
	240. 佐賀県 II 松本佩山	0	86	86	0	125	125	0	1	1	0	1	1	0	87	87	0	126	126
	250. 長崎県	3	12	15	3	12	15	0	2	2	0	2	2	3	14	17	3	14	17
	260. 福岡県	4	9	13	4	9	13	0	13	13	0	13	13	4	22	26	4	22	26
	270. 熊本県	2	0	2	2	0	2	0	6	6	0	6	6	2	6	8	2	6	8
	280. 大分県	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	290. 宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	300. 鹿児島県	2	2	4	2	2	4	0	1	1	0	1	1	2	3	5	2	3	5
	310. 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	320. 九州以外	2	37	39	2	47	49	0	15	15	0	15	15	2	52	54	2	62	64
	330. 国外	2	14	16	2	15	17	0	0	0	0	0	0	2	14	16	2	15	17
	小計	63	1796	1859	63	2305	2330	0	45	45	0	56	56	63	1841	1904	63	2361	2424
	合計	912	11537	12449	1341	22212	23241	0	223	223	0	249	249	912	11760	12672	1341	22461	23802

佐賀県立九州陶磁文化館年報・資料目録  
平成 26 年度 No.34

発行日 平成 27 年 7 月 30 日  
編集・発行 佐賀県立九州陶磁文化館

〒844-8585  
佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1  
TEL 0955-43-3681 FAX 0955-43-3324  
<http://saga-museum.jp/ceramic/>  
E-mail:kyuto@pref.saga.lg.jp

